



秋田大学 大学院医学系研究科・医学部 医学部附属病院 概要

AKITA UNIVERSITY Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine Akita University Hospital GUIDE FOR VISITORS

2024

令和6年度

Akita University
Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine
Akita University Hospital
GUIDE FOR VISITORS
2024



Contents 目次

■沿革 History	06
■組織図 Organizational Chart	14
■職員 Staff	16
①歴代学部長等 Chronological Lists of Deans and Directors	16
②名誉教授 Emeritus Professors	18
③役職員等 Administration Staffs	19
④職員の現員 Number of Staff	23

■教育・研究トピックス Educational and Research Topics	24
■学生 Students	36
■解剖体数 Number of Cadavers and Autopsies	40
■医学図書館 Medical Library	41
■附属病院の業務概要 Services in the University Hospital	42
①病院案内図 Guide to Floors	42
②診療科別病床数 Number of Beds for Each Clinical Division	43
③診療科別入院及び外来患者数 Number of Inpatients and Outpatients at Each Clinical Division	44



④地域別入院及び外来患者数	45
Distribution of Inpatients and Outpatients by Area	
⑤年度別1日平均患者数	46
Mean Number of Patients per day	
⑥中央検査部臨床検査件数	46
Number of Cases of Central Laboratory	
⑦手術件数及び麻酔件数	47
Number of Surgery and Anesthetic Cases	
⑧処方枚数,件数	48
Prescriptions and Related Data	
⑨分娩件数	48
Number of Delivery Cases	

⑩X線撮影,CT,MRI,核医学検査及び放射線治療件数	48
Number of X-ray Photography, CT, MRI, Nuclear Medicine and Radiotherapy Cases	
⑪医療機関の承認・指定・届出等の状況	49
Legal Authorization of Medical Services	
■土地・建物 Land and Buildings	53
①敷地面積	53
Campus	
②建物面積	53
Buildings	
■所在地及び電話番号 Address and Telephone	55
■建物配置図 Campus Map	57

医学系研究科の理念・目標

○理念

人類の健康・福祉の発展に寄与する医学・医療・生命科学の最先端研究を推進できる国際的視野を備えた優れた研究者・高度専門医療人を育成する。

○医学専攻の目標

1. 教育 医学・医療・生命科学の最先端研究を推進するための幅広い知識と研究技法を身につけ、世界へ向けて卓越した学術研究の成果を発信できる国際的視野を備えた研究者及び高度専門医療人を育成する。
2. 研究 人類の健康・福祉の発展に寄与する医学・医療・生命科学の卓越した研究拠点を形成するとともに、現代の医学・医療を取り巻く多彩な社会的課題の解決に貢献する社会医学・医療科学の研究を推進する。

○医科学専攻の目標

1. 教育 医学・医療・生命科学の幅広い知識を身につけ、研究成果を世界に向けて発信できる国際的視野を備えた研究者を育成する。
2. 研究 人類の健康・福祉の発展に寄与するため、医学・医療関連分野の領域横断的な諸問題の解決に貢献する研究を推進する。

○保健学専攻の目標

1. 教育 保健学に関する幅広い知識や専門領域における深い知識と優れた研究能力を有し、学習者の葛藤に共感し効果的に援助できる教育者を育成する。
また、実践の場において、自立した研究活動ができ、かつ優れたケア、指導、管理ができる高度専門職者を育成する。特に、少子・高齢化に係る諸課題を総合的に探求・解決し、地域再生へ貢献ができる人材を育成する。
2. 研究 保健学、特に看護学とリハビリテーション科学の領域で、創造性に富み学問的基盤の確立と発展に貢献する研究を推進する。

医学部の理念・目標

○理念

豊かな教養に支えられた人間性と高い倫理観及び、学問の進歩に対応しうる柔軟な適応能力と課題探求・問題解決能力を養い、医学・健康科学に対する十分な理解のもとに、人々の健康と医療・福祉に貢献できる国際的視野を備えた使命感にあふれる人材を育成する。

○医学科の目標

1. 教育 豊かな感性、高い教養、医療に関する幅広い専門知識と高度な技術を身につけ、人間に対する深い理解と愛情を持ち、医学・医療の発展のために必要な意欲と能力を持つ人材を育成する。
2. 研究 国際的に高く評価される独創性の高い医学研究を推進し、特色ある研究拠点を形成する。
3. 医療 特色ある先進医療を推進するとともに、地域社会において期待される医療・福祉の充実に貢献する。

○保健学科の目標

1. 教育 豊かな感性、高い教養と倫理性、医療に関する幅広い専門知識と高度な技術を身につけ、国民の健康と医療・福祉に貢献できる医療技術者、並びに教育・研究の発展に寄与できる創造性豊かな人材を育成する。
2. 研究 教育の礎となり、健康科学に広く関わる知識と技術の発展に資する研究を目指し、社会に貢献する。

医学部附属病院の理念・目標

○理念

- ・良質で高度な医療を安全に提供する
- ・人間性豊かな優れた医療人を育成する
- ・先進的な医療の開発と推進に努める
- ・地域医療の中核的役割を果たす
- ・医療を通じて国際貢献に務める
- ・病院で働く全ての人たちの幸福を目指す

私共、秋田大学医学部附属病院の全職員は、
本病院の理念に基づき、自らの使命を果たします。

○目標

1. 教育病院として臨床実習・研修の充実を図り、医師のみならず全ての分野の優れた医療人を、地域の医療機関との連携を図りながら育成する。
2. 患者本位の立場に立ち、患者さんとの信頼関係のもとに医療サービスの向上を図り、患者さんに選ばれる病院を目指す。
3. 地域の保健・医療・福祉の状況を総合的に把握し、その向上のために地域医療機関と連携し、一般医療のみならず難病への医療や高度先端医療の提供に努める。
4. 地域的に問題とされる疾患や難治性疾患の病因解明や新しい診断・治療方法の開発、既存の診断・治療方法の科学性、有効性の検証等について研究し、国際レベルの、独創的研究成果をあげる。
5. 医学・医療の進展に対応して、新しい知識や技術の有用性を適切に判断できるように生涯にわたって学習を継続し、また、広く学際領域の諸科学にも関心をもつよう努力する。
6. 国際情勢にも関心をもち、高度な医学・医療の知識や技術の導入のみならず、開発途上国に対する国際医療協力などをも含めて国際的に活躍できるよう努力する。
7. 有限な資源を有効に利用することの重要性を認識し、全職員の病院運営への意識を高め、かつ、職員の創意工夫を取り入れて効率的な管理運営ができるように努力する。
8. 診療情報を積極的に患者さんに提供し、医療提供者と患者さんが診療情報を共有することによって、両者の良好な関係を築き、より質の高い開かれた医療を目指す。
9. 自己点検・評価さらには第三者機関による評価を踏まえて、常に教育、研究、診療の向上や病院の管理運営の改善に努める。
10. 常に自分自身を向上させ、患者さんの信頼を得、明るい、やりがいのある職場の構築に努める。

40周年記念講堂 Hondo 40th Anniversary Memorial Hall



医学系研究科長・医学部長あいさつ



医学系研究科長
医学部長
Dean, Graduate School of Medicine
and Faculty of Medicine

羽 瀨 友 則

Tomonori Habuchi

歴史

秋田大学医学部医学科は、1970年に我が国における戦後初の医学部として創設されました。県民の強い熱意が原動力となって、旧県立中央病院を国に移管して医学部附属病院とし、開設されたものです。また医学部保健学科は1978年に医学部附属看護学校として開設され、1990年に秋田大学医療技術短期大学(3年課程)として医学部に併設後、2002年に医学部保健学科(4年課程)へと発展的に改組されました。2009年、秋田大学医学部は大学院大学に部局化され、名称を秋田大学大学院医学系研究科とし、医学専攻および保健学専攻からなる大学院として新しいスタートを切り、現在に至っています。設立以来の医学系研究科及び医学部の卒業生は5,000名を超え、医療界の様々な分野で指導者として活躍しています。

ミッション(使命)

このような背景をもとに、秋田大学医学部と附属病院は秋田県をはじめとする地域の医療に貢献することで地元の信頼を得て参りました。私達は、先進的な医療や世界最先端の研究を進めるとともに、秋田県の医療や県民の健康を守るという重要な役割を果たす必要があると考えております。

秋田大学大学院医学系研究科ならびに医学部のミッションの根幹は、教育、研究、そして診療です。それぞれの特徴を簡単にご紹介します。

教育

医学科の教育カリキュラムの特徴は、全国でも先進的な医学教育の取り組みを行ってきており、「秋田モデル」とも称する卒前・卒後をシームレスに繋ぐ一環教育にあります。秋田大学では1年次からの早期臨床体験教育に始まり、1年次から6年次まで、地域の医療機関で実習を行うことができるように、秋田県医師会及び県内の医療機関より全面的なバックアップを頂いています。2001年から全国に先んじて、独自に卒業時の学生の診療能力を評価するための実技試験(アドバンス Post-Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination : OSCE)を導入し、最先端の教育と評価システムを実践してきました。保健学科においても、地域の医療機関や市町村との積極的な連携により様々な実習や演習を行っています。また、理学療法学専攻や作業療法学専攻は、少人数教育中心を活かした親身な教育や実習を行っています。

キャンパス内にはシミュレーション教育センターが設置されており、学生のみならず広く県内の医療従事者へも解放して実技トレーニングを行っています。さらには、初年次からの英語による医療面接実習、学生用Webシステム、e-Learning、デジタル教育等、新たな教育手法の開発や実践に積極的に取り組むことで、1年次から最終学年までをモチベーション高く系統立てて繋ぐカリキュラムを構築しています。このような先進的取り組みが功を奏し、医師国家試験や看護師国家試験、理学療法士国家試験、作業療法士国家試験などでも、毎年、好成績を挙げており、医師国家試験の合格率では全国国立大学の中でもトップレベルを維持しております。また、2021年の日本医学教育評価機構による分野別評価においても極めて高い評価を受けたのも特筆すべき成果であります。

2023年には医学教育の未来と見据えて「先進デジタル医学・医療教育学講座」を開設しました。当講座を核に、最新のデジタル技術やtechnologyを活用した革新的な医学教育を進めていきます。

学生の海外派遣及び海外学生の受け入れにも積極的です。医学科では毎年10名以上が医学部国際交流基金からの支援を得て、海外の医学部または医学研究機関へ短期留学しています。保健学科では、シンガポール国立大学看護学アリス・リー・センターと学部間協定を結んで、学生相互交流をしています。

研究

医学系研究科では基礎から臨床まで特色のある先端的研究が行われており、世界への発信を続けています。癌の分野では癌細胞周囲の微小環境、造血器や固形腫瘍(癌)の新規治療薬の開発、抗癌剤をはじめとした各種治療薬の薬物動態遺伝学、様々な細胞死のメカニズム、肥満と癌進展、睡眠の分子機構、新たな免疫細胞やアレルギー等の様々な研究においても優れた研究成果を発表しています。

また感染症の臨床・疫学・基礎研究の新規統合部門である「秋田大学感染統括 制御・疫学・分子病態研究センター」にも医学研究科・医学部のスタッフが主導で新規性のある臨床と研究に成果を挙げています。医理工連携にも勢力を挙げて取り組んでおり、一端として、「遠隔医療推進開発研究センター」による遠隔医療の推進と開発や、癌の自動迅速病理診断装置の開発と製品化等が注目されています。

診療

医学部附属病院は、県内唯一の特定機能病院として良質な高度医療の提供と優れた医療人の育成に力を入れています。2020年度には、これからの地域医療を支える総合的診療能力を有する医師養成の拠点としての総合診療医センターを設置しました。また、以前より救命救急活動用のヘリポートを設置し、県内各地から重症患者を受け入れてまいりましたが、2021年には高度救命救急センターが設置され、救急医療や超急性期医療体制がさらに充実しました。2012年から手術支援ロボット下の内視鏡手術、2021年からハイブリッド手術室での心血管手術も多数例を行い、最先端の医療を実践、提供しています。また近年の癌登録患者数からみましても県内随一の多くの癌患者さんや急性期循環器疾患患者の治療にあたっており、県民の医療を守り、先進医療に取り組み世界に発信する大学病院と言えます。

おわりに

以上、秋田大学医学部ならびに秋田大学大学院医学系研究科には、世界トップレベル、最先端の医療の提供や研究の推進と発信に加え、秋田県の医療や県民の健康を守るという使命がありますが、同時に医学・医療の発展の牽引力となり、世界に発信しながらも地域医療を守り得る次世代の医師、研究者の育成も大きな使命であります。是非とも多くの医学部生や大学院生が秋田大学医学部や大学院医学系研究科に集い、私共のチームの一員として、未来を切り開き、大いに活躍していただくよう、職員一同、期待しています。

医学部基礎医学研究棟 Research Building for Basic Medicine



医学部附属病院長あいさつ



病院長
Director, University Hospital

渡邊 博之

Hiroyuki Watanabe

～地域医療と先進医療の共鳴を目指して～

秋田大学医学部附属病院長の渡邊博之です。病院を代表してご挨拶を申し上げます。本院の歴史は、1970年の秋田大学医学部創設の翌年に、秋田県立中央病院が国に移管される形でスタートしました。この経緯から察することができますように、秋田大学医学部附属病院は秋田県民の心からの熱望を原動力に、戦後初めて開設される国立大学医学部附属病院として誕生したわけです。開設当初から 1) 良質・高度かつ安全な医療を提供 2) 優れた医療人育成、3) 先進的医療の開発と推進、4) 地域医療の中核、5) 医療を通じた国際貢献を病院の理念に掲げてきました。病院機能のその後の足取りを見ますと、2007年には都道府県がん診療拠点病院に、2009年の新病棟竣工後は旧病棟や外来棟の再開発も進み、2012年には国内最大級のシミュレーション教育センターが竣工、2013年にはあきた医師総合支援センター設置。2014年にはヘリポート、2016年には第一種感染症病棟が竣工されるなど、秋田県民医療の中核機関として診療・教育・研究機能が充実・強

化されました。

その一方で、大学病院を取り巻く環境、とくに秋田県の状況は開設当初とは大きく異なり、全国一の少子・超高齢社会となっています。そのため、地域医療構想に沿った医療機関の役割分担と病床機能分化が、県内全体で急速に進もうとしています。現在本院は、このような県内医療状況の変化に対応しながら、かつ県内医療の「最後の砦」として重症患者を対象とした高度専門診療(がん、難病、循環器病、高齢者、周産期医療)に取り組んでいます。具体的には、臓器移植や骨髄移植、ロボット支援手術、カテーテルを用いた心血管治療に代表される低侵襲手術、難治性がんや難治疾患に対する集学的治療、PET-CTをはじめとする画像診断技術などであり、高度で良質な医療を提供しています。今後は、さらに地域の医療ニーズに応えるために、包括的、集学的医療を行う複数の診療科・中央施設が協働したセンター系医療も充実したいと考えております。近年、これからの医療のあるべき姿を見据えて、新たな2つのセンターを設置しました。2020年12月に開設した総合診療医センター、そして2021年4月開設の高度救命救急センターです。これらセンター系医療を軸として、超高齢化課題先進県秋田において、地域医療と先進医療が共鳴する大学病院を目指しています。

大学病院は、専門性の高い高度な医療を提供するのが使命ではありますが、治療するのは病気ではなく、患者さんであるということを忘れてはなりません。こうしたさまざまな思いや取り組みを、医師・看護師・薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師・臨床工学技士・理学療法士・作業療法士などの多様なメディカルスタッフや事務部門の職員が共有し、やりがいをもって協力し合い、それぞれの職責を全うしながら進めています。さらに地域医療を支える優れた医療人を育成し、未だ診断や治療が困難な病気の予防・診断・治療法を開発し、医学・医療の発展にも貢献していきたいと考えています。

本院は開設以後50年以上にわたり、県内唯一の教育病院かつ特定機能病院として、良質な医療の提供と地域の高度医療を担い、優れた医療人を育成し、そして未来の医療につながる研究を行ってまいりました。これからも「皆さまから愛される秋田大学医学部附属病院を目指して」日々精進してまいりますので、暖かいご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1945	昭和20年4月 April	秋田県立女子医学専門学校設置 Akita Prefectural Women's Medical College was established.
1947	昭和22年4月 April 11月 November	校舎全焼 The college buildings were totally destroyed by fire. 学校及び附属病院廃止 The College and the College Hospital were abolished. 秋田県立病院設置 Akita Prefectural Hospital was established.
1954	昭和29年7月 July	秋田県立中央病院と改称 The Hospital was renamed Akita Prefectural Central Hospital.
1958	昭和33年4月 April	秋田県立高等看護学院を開設 Akita Prefectural Nursing School was established.
1969	昭和44年1月 January	昭和44年度予算(案)に本学医学部創設準備費計上 A budget for establishing Akita University School of Medicine was earmarked.
1970	昭和45年4月 April	秋田大学に医学部設置 Akita University School of Medicine was established. 医学科学生入学定員80名 Enrollment limit of undergraduate students:80 医学部設置に伴い県立中央病院は代用附属病院となる Akita Prefectural Central Hospital was used as University Hospital. 解剖学第一,生化学,内科学第一,外科学第一,小児科学及び産科婦人科学の6講座開設 Six Departments (Anatomy I, Biochemistry, Internal Medicine I, Surgery I, Pediatrics, and Obstetrics and Gynecology) were established.
1971	昭和46年4月 April 11月 November	秋田県立中央病院を国に移管,医学部附属病院発足 Akita Prefectural Central Hospital was transferred to Akita University: Akita University Hospital was formally established. 解剖学第二,病理学第一,薬理学,生理学第一,微生物学,衛生学及び寄生虫学の7講座開設(計13講座) Seven Departments (Anatomy II, Pathology I, Pharmacology, Physiology I, Microbiology, Hygiene, and Parasitology) were established (13 departments in total). 医学部附属病院に内科,外科,小児科,産科婦人科,神経科精神科,整形外科,皮膚泌尿器科,眼科,耳鼻咽喉科,放射線科,麻酔科,歯科の12診療科,中央検査部,中央手術部の2中央診療施設開設(病床数600床,職員定員460) Twelve Clinical Divisions (Internal Medicine, Surgery, Pediatrics, Obstetrics and Gynecology, Neurology and Psychiatry, Orthopedic Surgery, Dermatology and Urology, Ophthalmology, Oto-Rhino-Laryngology, Radiology, Anesthesiology and Dentistry) along with 2 Central Clinical Facilities (Central Laboratory Division and Central Operating Division) were established. (600 beds and 460 staff members) 基礎医学研究棟,実習棟,講義棟,研究機器センター,附属図書館医学部分館,福利厚生施設及び体育館等竣工 Buildings were completed for the research of basic medicine, laboratory, lecture theaters and Central Research Laboratory, Medical School Library, student welfare facilities, and gymnasium.
1972	昭和47年4月 April 5月 May	病理学第二,生理学第二,内科学第二,外科学第二,眼科学及び耳鼻咽喉科学の6講座開設(基礎医学11講座,臨床医学8講座 計19講座) Six Departments (Pathology II, Physiology II, Internal Medicine II, Surgery II, Ophthalmology, and Oto-Rhino-Laryngology) were established. (A total of 19 departments comprising 11 departments for basic medicine and 8 departments for clinical medicine) 秋田大学医学部附属看護学校を設置 Attached School of Nursing of Akita University School of Medicine was established. 内科を第一内科と第二内科に,外科を第一外科と第二外科に分離(計14診療科) The Division of Internal Medicine was separated into two independent subdivisions (Internal Medicine I and II) and the Division of Surgery was separated into two subdivisions (Surgery I and II). (14 clinical divisions in total)
1973	昭和48年4月 April 11月 November	公衆衛生学,法医学,精神科学,整形外科,麻酔学及び放射線医学の6講座開設(基礎医学13講座,臨床医学12講座 計25講座) Six Departments (Public Health, Forensic Medicine, Psychiatry, Orthopedic Surgery, Anesthesiology and Radiology) were established. (A total of 25 departments comprising 13 departments for basic medicine, and 12 departments for clinical medicine) 皮膚泌尿器科を皮膚科と泌尿器科に分離(計15診療科) The Division of Dermatology and Urology was separated into two independent divisions of Dermatology and Urology. (15 clinical divisions in total) 臨床医学本館,臨床講義棟竣工 The main clinical building and lecture building were completed.

1974	昭和49年4月 April	皮膚科学及び泌尿器科学講座開設(基礎医学13講座,臨床医学14講座 計27講座)予定全講座の開設終了 Departments of Dermatology and Urology were established. (A total of 27 departments comprising 13 departments for basic medicine and 14 departments for clinical medicine)
1975	昭和50年4月 April	内科学第三講座増設(臨床医学15講座 計28講座) The 3rd Department of Internal Medicine was established. (15 departments for clinical medicine and 28 departments in total) 秋田赤十字,市立秋田総合,由利組合総合の3病院を本学の協力病院に指定 Akita Red Cross Hospital, Akita Municipal General Hospital and Yurikumiai General Hospital were appointed affiliated hospitals to the University Hospital.
1976	昭和51年3月 March 4月 April 8月 August 9月 September 10月 October 12月 December	医学科第1期生卒業75名 The first graduation ceremony. (75 students graduated from the Medical School) 大学院設置,医学研究科学生入学定員56名 Graduate School of Medicine was established with the enrollment limit of graduate students 56. 新病院(鉄筋コンクリート8階建,地下1階)竣工 The new hospital building (8 floors one basement) was completed. 新病院移転,診療開始 The new hospital opened. 第三内科増設(計16診療科) Division of Internal Medicine III was established. (16 clinical divisions in total) 看護婦宿舎(鉄筋コンクリート6階建)竣工 Nurses'Dormitory was built. (6 floors)
1977	昭和52年2月 February 10月 October	動物実験施設竣工 Animal Facilities for Experimental Medicine was built. 中央材料部増設(計3中央診療施設) Central Supplying Division was established. (3 central clinical facilities in total)
1978	昭和53年3月 March 4月 April 10月 October	附属看護学校及びRI施設竣工 School of Nursing and Radioisotope Research Center were established. 脳神経外科学講座増設(臨床医学16講座 計29講座) Department of Neurosurgery was established. (16 departments for clinical medicine and 29 departments in total) 医学科学生入学定員100名に増員 Enrollment limit of medical undergraduate students was increased to 100. 脳神経外科増設(計17診療科) Division of Neurosurgery was established. (17 clinical divisions in total)
1979	昭和54年4月 April 10月 October	生化学第二講座増設(基礎医学14講座 計30講座) The 2nd Department of Biochemistry was established. (14 departments for basic medicine and 30 departments in total) 中央放射線部増設(計4中央診療施設) Central Radiology Division was established. (4 central clinical facilities in total)
1980	昭和55年3月 March 4月 April	医学研究科第1期生修了4名 The first graduation ceremony of the Graduate School. 病院事務部が3課制(総務課,管理課,医事課)となる The administrative department of the University Hospital was reorganized with 3 divisions (General Affairs, Administration, and Medical Affairs).
1981	昭和56年4月 April	附属動物実験施設が附属教育研究施設となる Animal Facilities for Experimental Medicine became an educational and research institution attached to the Medical School. 集中治療部増設(計5中央診療施設) Intensive Care Unit was established. (5 central clinical facilities in total)
1982	昭和57年4月 April	附属実験実習機器センターが附属教育研究施設となる The Central Research Laboratory became an educational and reserch institution attached to the Medical School.

1984	昭和59年4月 April	心臓血管外科増設(計18診療科) Division of Cardio-Vascular Surgery was established. (18 clinical divisions in total) 医学部及び附属病院事務部を統合し、医学部事務部(総務課,管理課,学務課,医事課)に改組 Administrative Offices in the Medical School and the University Hospital were unified into a new Administration Department of the Medical School (comprising General Affairs Division, Administration Division, Educational Affairs Division and Medical Affairs Division).
1986	昭和61年1月 January 4月 April	管理棟竣工 Completion of the Administration Building. 救急部増設(計6中央診療施設) Division of Emergency Medicine was established. (6 central clinical facilities in total)
1987	昭和62年5月 May	臨床検査医学講座増設(臨床医学17講座 計31講座) Department of Laboratory Medicine was established. (17 departments for clinical medicine and 31 departments in total)
1989	平成元年10月 October	白求恩医科大学・中国医科大学と姉妹校締結 Agreements for academic and student exchange and cooperation were concluded with Norman Bethune University of Medical Sciences and China Medical University. 秋田大学医療技術短期大学部を秋田大学に併設 College of Allied Medical Science was established.
1990	平成2年4月 April	理学療法学科及び作業療法学科の設置 Department of Physical Therapy and Occupational Therapy were established.
1991	平成3年3月 March 4月 April	附属病院MRI-CT棟竣工 Completion of the MRI-CT Facility in the University Hospital. 心臓血管外科学講座増設(臨床医学18講座 計32講座)及び輸血部増設(計7中央診療施設) Department of Cardio-Vascular Surgery was established (18 departments for clinical medicine and 32 departments in total) and Division of Blood Transfusion was established. (7 central clinical facilities in total)
1992	平成4年3月 (31日) March	秋田大学医学部附属看護学校廃止 Attached School of Nursing of Akita University School of Medicine was abolished.
1994	平成6年1月 January 6月 June	附属病院が特定機能病院の承認 The University Hospital was authorized as a Special Functioning Hospital. 救急医学講座増設(臨床医学19講座 計33講座)及び老年科増設(計19診療科) Department of Emergency and Critical Care Medicine was established (19 departments for clinical medicine and 33 departments in total) and Division of Geriatrics was established. (19 clinical divisions in total)
1995	平成7年11月 November	中国衛生部北京医院と学術交流協定締結 Agreements for academic exchange were concluded with Beijing Hospital, Ministry of Health, People's Republic of China.
1996	平成8年1月 January 5月 May	ミンスク医科大学と姉妹校締結 Agreements for academic and student exchange and cooperation were concluded with Minsk Medical Institute. 小児外科増設(計20診療科) Department of Pediatric Surgery was established. (20 clinical divisions in total)
1998	平成10年4月 April	医科学情報学講座増設(基礎医学15講座 計34講座) Department of Medical Information Science was established. (15 departments for basic medicine and 34 departments in total) リハビリテーション部増設(計8中央診療施設) Rehabilitation Division was established. (8 central clinical facilities in total)
1999	平成11年3月 March	納骨堂竣工 Completion of the Charnel House.
2000	平成12年2月 February	臨床研究棟(本館,北棟)改修工事竣工 Renovation to the main Building and the north wing of the Clinical Research complex was completed.
2001	平成13年4月 April	医療情報部増設(計9中央診療施設) Division of Medical Informatics was established. (9 central clinical facilities in total)

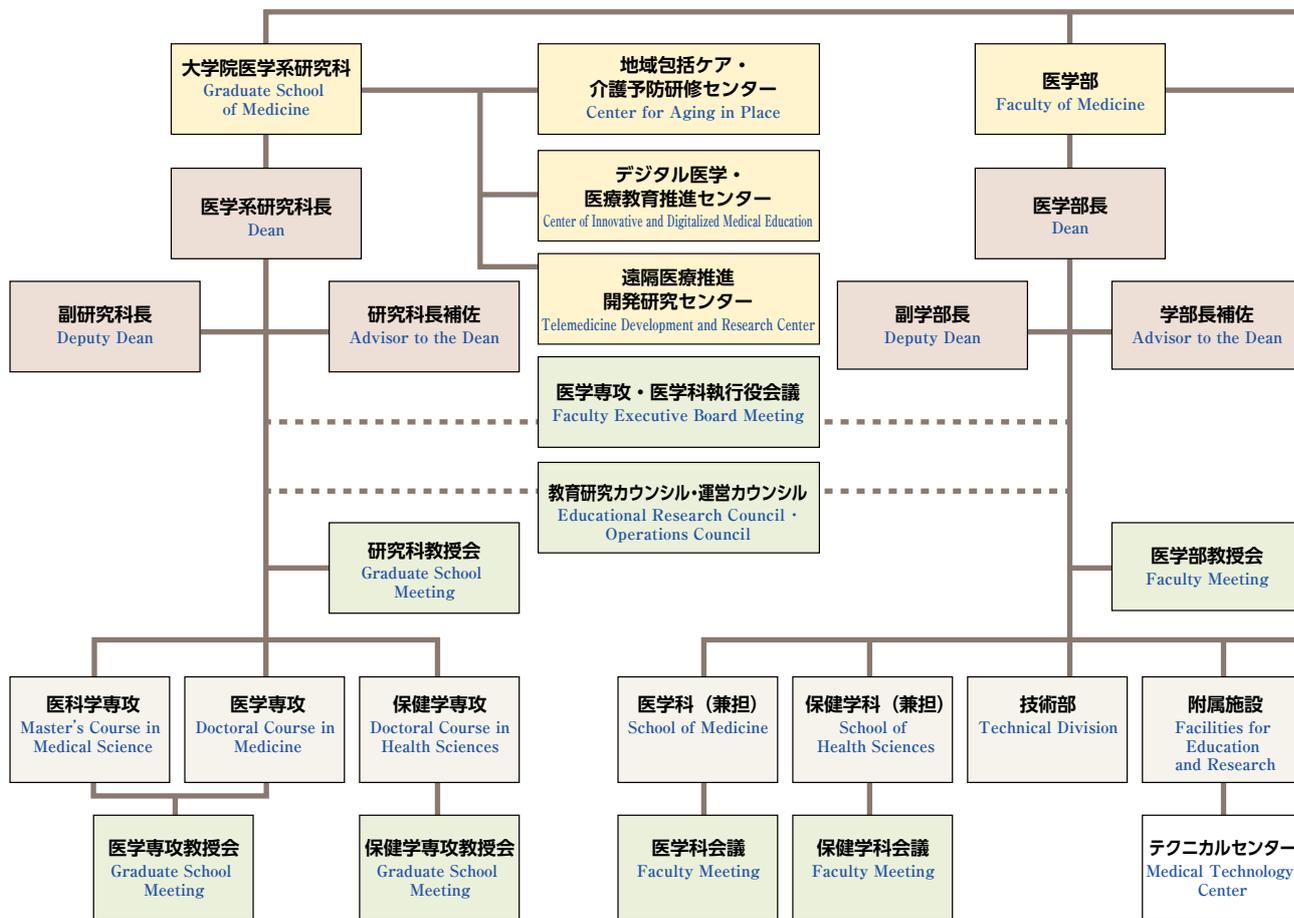
2002	平成14年4月 April 10月 October	老年医学講座増設(臨床医学20講座 計35講座) Department of Geriatrics was established. (20 departments for clinical medicine and 35 departments in total) 医療技術短期大学部を改組し,保健学科設置 College of Allied Medical Science was reorganized into School of Health Sciences. 保健学科学生入学定員106名 Enrollment limit of Health Sciences undergraduate students :106
2003	平成15年4月 April	小児外科学講座増設(臨床医学21講座 計36講座) Departments of Pediatric Surgery was established. (21 departments for clinical medicine and 36 departments in total) 医学部医学科の講座を再編成(基礎医学15講座,臨床医学21講座 計36講座から,基礎医学4大講座,臨床医学6大講座 計10大講座へ) The Medical School (Dept. of General Medicine) was reorganized-General and Clinical Medicine (36 total divisions) were divided into four major divisions of general medicine, and six major divisions of clinical medicine, for a total of ten divisions. 血液浄化療法部増設(計10中央診療施設) Division of Blood Purification was established. (10 central clinical facilities in total)
2004	平成16年4月 April	国立大学法人秋田大学の設置 Akita University was reestablished as a National University Corporation. 医学部事務部を総務課,企画管理課,調達課,学務課,医事課,医療サービス室に改組 The Administration Department of the Medical School, which had four divisions, was reorganized into 6 Divisions: General Affairs, Planning-Administration, Supplying, Educational Affairs, Medical Affairs and Medical Service. 附属動物実験施設,附属実験実習機器センター及び放射性同位元素センターが,医学部附属教育施設から分離し,秋田大学バイオサイエンス教育・研究センターに再編 The Medical School Facilities for Education and Research (Animal Facilities for Experimental Medicine, Central Research Laboratory, and Radioisotope Research Center) were integrated into Akita University Bioscience Education and Research Center.
2005	平成17年5月 May 6月 June	附属病院がISO9001:2000を取得 The University Hospital received ISO9001:2000 certification in accordance with guidelines set by the International Organization for Standardization. 華中科技大学同済医学院と学術友好交流協定締結 Agreements for academic exchange were concluded with Tongji Medical College of Huazhong University of Science and Technology.
2006	平成18年3月 March 3月 March	医学系研究棟竣工 Completion of the Medical Research Building. 医学教育センターを設置 Center for Medical Education established.
2007	平成19年1月 January 4月 April 10月 October	附属病院が都道府県がん診療連携拠点病院に指定 The University Hospital received government recognition as a national affiliated cancer treatment facility. 大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改組し,医科学専攻(修士課程)及び保健学専攻(修士課程),並びに医学専攻(博士課程)を設置 In addition to Doctor Course in Medicine, Master Course of Medical Science and Master's Program in Health Sciences were established in Graduate School of Medicine. 内科学講座に臨床腫瘍学分野増設 Department of Clinical Oncology was established.
2008	平成20年2月 February 10月 October	カリアリ大学と学術友好交流協定締結 Agreements for academic exchange were concluded with the University of Cagliari. 秋田県からの寄附を受け,総合地域医療推進学講座(寄附講座)を設置(平成20年10月1日~平成25年3月31日) Endowed Department of Community Medicine and Primary Care Development was established.(Akita Prefecture) アステラス製薬株式会社,中外製薬株式会社,日本化薬株式会社,扶桑薬品工業株式会社,有限会社大沢商事からの寄附を受け,腎置換医療学講座(寄附講座)を設置(平成20年10月8日~平成25年10月7日) Endowed Department of Renal Replacement Therapeutic Science was established. (Astellas Pharma Inc, Chugai Pharmaceutical CO., LTD, Nippon Kayaku Co., Ltd, Fuso Pharmaceutical Industries, LTD, Osawa Shouji)

2009	<p>平成21年4月 April</p> <p>9月 September</p> <p>11月 November</p>	<p>大学院医学系研究科を部局化(医学専攻4系37講座, 保健学専攻6講座) As a result of the shift to the chair system of the Graduate School of Medicine, four divisions and 37 departments were reorganized in Doctoral Course in Medicine, and six departments were reorganized in Doctoral Course in Health Sciences.</p> <p>大学院医学系研究科に保健学専攻(博士後期課程)を設置 A Doctoral Course in Health Sciences was established in the Graduate School of Medicine.</p> <p>医学教育部設置 The Medical School faculty was established.</p> <p>医学系研究科に執行役会議を設置し, 副研究科長(副学部長)制を導入 Faculty Executive Board was established in the Graduate School of Medicine Three Deputy Deans were appointed.</p> <p>医学部事務部を医学系研究科・医学部事務部に改組 The Administration Departments of Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine was reorganized.</p> <p>医療安全管理部, 感染制御部, 栄養管理部, リハビリテーション科, 緩和ケアセンター増設 Division of Medical Security and Patient Safety, Division of Infection Control and Prevention, Division of Nutrition Management, Rehabilitation Medicine, Palliative Care Center were established.</p> <p>附属病院第二病棟竣工 Completion of the Wing No.2 of the University Hospital.</p> <p>肝疾患相談センター増設 Liver Disease Consultation Center was established.</p>
2010	<p>平成22年4月 April</p> <p>6月 June</p> <p>7月 July</p>	<p>株式会社三和化学研究所からの寄附を受け, 病態代謝栄養学講座(寄附講座)を設置(平成22年4月1日~平成25年3月31日) Endowed Department of Metabolism and Clinical Nutrition Science was established.(Sanwa Kagaku Kenkyusho CO., LTD)</p> <p>腫瘍内科, 救急科増設 Clinical Oncology, Emergency Medicine were established.</p> <p>医学科学生入学定員122名に増員 Enrollment limit of medical undergraduate students was increased to 122.</p> <p>基礎医学研究棟改修工事竣工 Renovation to the Research Building for Basic Medicine was completed.</p> <p>医学教育部の改組に伴い医学教育センターを廃止 Abolished the Center for Medical Education due to the reorganization of the Medical Education Department.</p> <p>秋田県からの寄附を受け, 地域医療連携学講座(寄附講座)を設置(平成22年7月1日~平成26年3月31日) Endowed Department of Community Medical Care Relations was established.(Akita Prefecture)</p>
2011	<p>平成23年4月 April</p>	<p>医学科学生入学定員125名に増員 Enrollment limit of medical undergraduate students was increased to 125.</p> <p>地域医療政策学講座を設置 Department of Health Care Policy was established.</p> <p>リール第2大学医学部と学術友好交流協定締結 Agreements for academic exchange were concluded with the Faculty of Medicine of Lille 2 University.</p>
2012	<p>平成24年1月 January</p> <p>10月 October</p>	<p>秋田大学医学部附属病院シミュレーション教育センター竣工 Completion of the Akita University Hospital Medical Simulation Center.</p> <p>地域がん包括医療学講座を設置 Department of Comprehensive Cancer Control was established.</p>
2013	<p>平成25年4月 April</p>	<p>医科学情報学・国際交流学講座を医学教育学講座に名称変更 Department of Medical Education was established.</p> <p>医師総合支援センター増設 Medical Doctor Support Center was established.</p> <p>腎疾患先端医療センター増設 Center of Advanced Treatment for Kidney Disease was established.</p> <p>総合地域医療推進学講座(寄附講座)期間延長(平成20年10月1日~平成30年3月31日) Endowed Department of Community Medicine and Primary Care Development was extended.</p>

		<p>病態代謝栄養学講座(寄附講座)期間延長 (平成22年4月1日～平成27年3月31日) Endowed Department of Metabolism and Clinical Nutrition Science was extended.</p> <p>感染・免疫アレルギー・病態検査学講座を総合診療・検査診断学講座に名称変更 Department of General Medical Practice and Laboratory Diagnostic Medicine was established.</p> <p>7月 July 医療情報学講座を設置 Department of Medical Informatics was established.</p>
2014	<p>平成26年4月 April 医学科学生入学定員127名に増員 Enrollment limit of medical undergraduate students was increased to 127.</p> <p>秋田県からの寄附を受け、循環型医療教育システム学講座(寄附講座)を設置 (平成26年4月1日～平成31年3月31日) Endowed Department of Interconnected Medical Education and Support Systems was established.</p> <p>5月 May 附属病院ヘリポート及び立体駐車場運用開始 The university hospital's helipad / parking garage is officially opened for use.</p> <p>6月 June 蘭州大学附属第一病院と学术交流に関する覚書締結 Memorandum of Understanding on Academic Cooperation were concluded between Akita University Hospital and The First Hospital of Lanzhou University.</p> <p>10月 October 医学系研究科に地域包括ケア・介護予防研修センターを設置 Center for Aging in Place established in the Graduate School of Medicine.</p> <p>卒業臨床研修センター、医師キャリア形成支援センター、医師総合支援センターを改組し、総合臨床教育研修センターを設置 Post-Graduation Clinical Training Center, Career Development Center and Medical Doctor Support Center reorganized Center for Medical Education and Training.</p>	
2015	<p>平成27年3月 March 医学教育部を廃止 Medical School Faculty was abolished.</p> <p>医学科学生入学定員129名に増員 Enrollment limit of medical undergraduate students was increased to 129.</p> <p>4月 April 外来棟・中央診療棟改修工事竣工、附属病院再開発整備事業完了 Renovation work on Outpatient Clinic Building and Main Clinic Building completed. University Hospital overall renovation construction project completed.</p> <p>呼吸器・乳腺内分泌外科学講座を胸部外科学講座に名称変更 Department of Thoracic Surgery was established</p> <p>消化管内科学講座を設置 Department of Gastroenterology was established</p> <p>消化器内科・神経内科学講座を肝胆膵内科学・神経内科学講座に名称変更 Department of Hepatology and Neurology was established.</p> <p>医学系研究科に教育研究カウンスル及び運営カウンスルを設置 Educational Research Council and Operations Council established in the Graduate School of Medicine.</p> <p>治験管理センターを改組し、臨床研究支援センターを設置 Pharmaceutical Management Center reorganized Clinical Research Promotion and Support Center.</p> <p>7月 July 消化器内科を消化器内科(肝・胆・膵)に名称変更 Gastroenterology was established</p> <p>消化器内科(胃腸・食道)を設置 Gastroenterology was established</p>	
2016	<p>平成28年3月 March シンガポール国立大学看護部と部局間交流協定締結 Memorandum of Understanding on Academic Cooperation were concluded between Graduate School of Medicine Doctoral Course in Health Science.</p> <p>4月 April 地域・老年看護学講座を地域生活支援看護学講座へ名称変更 Nursing for Community Living was established.</p> <p>8月 August ハワイ大学と交流覚書締結 Memorandum of Understanding on Academic Cooperation were concluded with University of Hawaii</p> <p>10月 October 肝胆膵内科学・神経内科学講座と消化管内科学講座を統合し消化器内科・神経内科学講座へ名称変更 Department of Gastroenterology and Neurology was established.</p> <p>消化器内科(肝・胆・膵)と消化器内科(胃腸・食道)を統合し消化器内科へ名称変更 Gastroenterology was established.</p>	

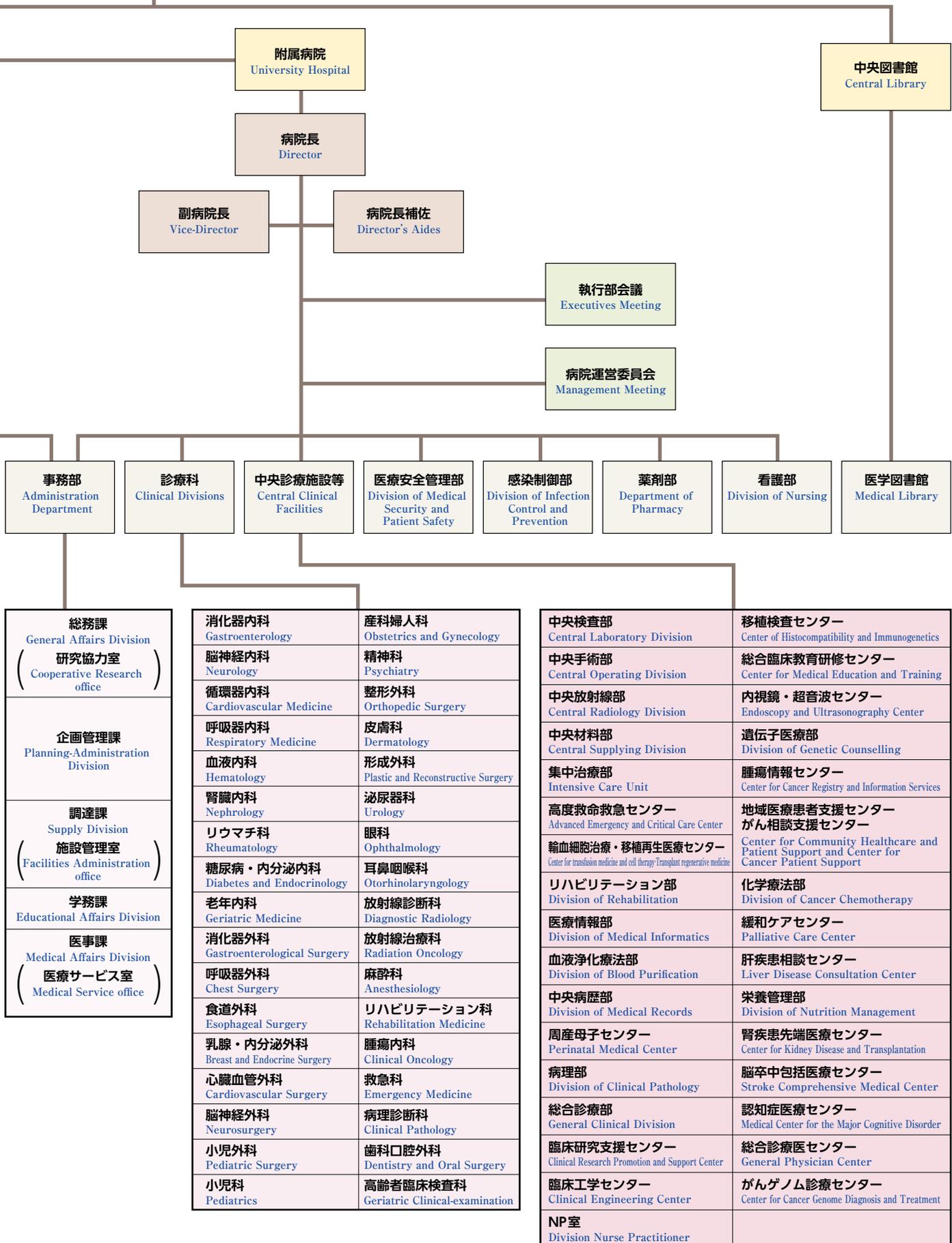
2017	<p>平成29年3月 March</p> <p>4月 April</p> <p>7月 July</p> <p>8月 August</p> <p>12月 December</p>	<p>本道40周年記念会館竣工 Completion of The Hondo 40th Anniversary Memorial Hall.</p> <p>地域がん包括医療学講座を地域がん医療学講座に名称変更 Department of Comprehensive Cancer Control was established.</p> <p>地域医療政策学講座を廃止 Department of Health Care Policy was abolished.</p> <p>高度感染症ユニット棟(第一種感染症病棟)竣工 Completion of High level Infectious Disease Unit.</p> <p>北秋田市と連携協定を締結 Agreements for cooperation were concluded with Kita akita city.</p> <p>MDアンダーソンがんセンターと交流覚書締結 Memorandum of Understanding on Academic Cooperation were concluded with MD Anderson Cancer Center.</p> <p>呼吸器内科学講座を設置 Department of Respiratory Medicine was established.</p> <p>呼吸器内科を設置 Respiratory Medicine was established.</p> <p>循環器内科学・呼吸器内科学講座を循環器内科学講座へ名称変更 Department of Cardiovascular Medicine was established.</p> <p>循環器内科を設置 Cardiovascular Medicine was established.</p>
2018	<p>平成30年4月 April</p> <p>5月 May</p> <p>9月 September</p>	<p>総合地域医療推進学講座(寄附講座)期間延長 Endowed Department of Community Medicine and Primary Care Development was extended.</p> <p>脳卒中包括医療センターを設置 Stroke Comprehensive Medical Center was established.</p> <p>形成外科を設置 Plastic and Reconstructive Surgery was established.</p>
2019	<p>平成31年4月 April</p> <p>令和元年5月 May</p>	<p>環境保健学講座と公衆衛生学講座を統合し衛生学・公衆衛生学講座へ名称変更 Department of environmental health science and public health was established.</p> <p>秋田県からの寄附を受け、地域循環・若手医師・女性医師支援学講座(寄附講座)を設置(平成31年4月1日～令和2年3月31日) Integrated Support Systems for Regional Medical Care, Young Physicians and Women Physicians was established.</p> <p>入退院支援センターを設置 Hospital Admission Support Center was established.</p> <p>シンガポール国立大学看護部と学生交換協定締結 Student Exchange Agreement on Academic Cooperation were concluded with Alice Lee Center for Nursing Studies National University of Singapore.</p> <p>チェンマイ大学医療技術学部と学生交換協定締結 Student Exchange Agreement on Academic Cooperation were concluded with Chiang Mai University.</p> <p>スラナリー工科大学看護学部と部局間交流協定締結 Memorandum of Understanding on Academic Cooperation were concluded between Graduate School of Medicine Doctoral Course in Health Science.</p>
2020	<p>令和2年1月 January</p> <p>2月 February</p> <p>4月 April</p> <p>7月 July</p> <p>12月 December</p>	<p>高齢者臨床検査科を設置 Department of geriatric clinical-examination was established.</p> <p>認知症医療センターを設置 Medical center for the major cognitive disorder was established.</p> <p>基礎看護学講座, 臨床看護学講座, 母子看護学講座及び地域生活支援看護学講座を統合し, 看護学講座に改組 Department of Basic Nursing, Department of Clinical Nursing, Department of Maternity Child Nursing and Department of Nursing for Community Living were unified into Department of Nursing.</p> <p>地域医療患者支援センター・がん相談支援センターと入退院支援センターが統合 Hospital Admission Support Center was unified into Consultation Support Center and Cancer Resource Center.</p> <p>地域循環・若手医師・女性医師支援学講座(寄附講座)期間延長(令和2年4月1日～令和3年3月31日) Integrated Support Systems for Regional Medical Care, Young Physicians and Women Physicians was extended.</p> <p>内分泌・代謝・老年内科学講座を代謝・内分泌内科学講座へ名称変更 Department of Metabolism and Endocrinology was established.</p> <p>総合診療医センターを設置 General Physician Center was established.</p>

2021	令和3年4月 April	<p>がんゲノム診療センターを設置 Center for Cancer Genome Diagnosis and Treatment was established.</p> <p>救急部を高度救命救急センターに名称変更 Advanced Emergency and Critical Care Center was established.</p> <p>地域循環・若手医師・女性医師支援学講座(寄附講座)期間延長(令和3年4月1日～令和4年3月31日) Integrated Support Systems for Regional Medical Care, Young Physicians and Women Physicians was extended.</p>
	12月 December	<p>薬物動態学講座を設置 Department of Pharmacokinetics was established.</p>
2022	令和4年4月 April	<p>男鹿なまはげ地域医療・総合診療連携講座(寄附講座)を設置(令和4年4月1日～令和5年3月31日) Regional Collaborative Department of Oga Namahage Community Medicine was established.</p> <p>不整脈先進治療学講座(寄附講座)を設置(令和4年4月1日～令和7年3月31日) Division of Advanced Arrhythmia Management was established.</p>
	12月 December	<p>先進デジタル医学・医療教育学講座を設置 Department of Innovative and Digitalized Medical Education was established.</p> <p>医学系研究科附属デジタル医学・医療教育推進センターを設置 Center for Innovative and Digitalized Medical Education was established.</p> <p>神経内科を脳神経内科へ名称変更 Neurology was established.</p> <p>ヴィエブス応用科学大学と学生交換協定締結 Student Exchange Agreement on Academic Cooperation were conclude With Vives University of Applied Sciences.</p>
2023	令和5年3月 March	<p>全学センターとして感染統括制御・疫学・分子病態研究センターを設置 Center for Integrated Control, Epidemiology and Molecular Pathophysiology of Infectious Diseases was established.</p>
	4月 April	<p>医学系研究科附属遠隔医療推進開発研究センターを設置 Telemedicine Development and Research Center was established.</p> <p>男鹿なまはげ地域医療・総合診療連携講座(寄附講座)期間延長(令和5年4月1日～令和6年3月31日) Regional Collaborative Department of Oga Namahage Community Medicine was extended.</p>
	6月 June	<p>輸血部を輸血細胞治療・移植再生医療センターへ名称変更 Center for Transfusion medicine and cell therapy・Transplant regenerative medicine was established.</p>
	7月 July	<p>ひと街づくり研究所(寄附研究部門)を設置(令和5年7月1日～令和6年6月30日) Institute for Human and Community Development was established.</p> <p>東サラエボ大学と部局間交流協定締結 Memorandum of Understanding on Academic Cooperation were concluded between Graduate School of University of Eastern Sarajevo</p>
2024	令和6年3月 March	<p>保健学科棟改修工事竣工 Renovation to the Research Building for Health Science was completed.</p>
	4月 April	<p>男鹿なまはげ地域医療・総合診療連携講座(寄附講座)期間延長(令和6年4月1日～令和7年3月31日) Regional Collaborative Department of Oga Namahage Community Medicine was extended.</p> <p>仙北ウェルビーイング地域医療総合診療連携講座を設置(令和6年4月1日～令和7年3月31日) Regional Collaborative Department of Senboku Well-being Community Medicine was established.</p>
	5月 May	<p>地域心身医療学講座を設置 Department of Community-based Psychosomatic Health Care was established</p>
	7月 July	<p>ひと街づくり研究所(寄附研究部門)期間延長(令和6年7月10日～令和7年7月9日) Institute for Human and Community Development was extended.</p>



医学専攻 Doctoral Course in Medicine	
系 Division	講座名 Department
病態制御医学系 Bioregulatory Medicine	形態解析学・器官構造学, 細胞生物学, 細胞生理学, 器官病態学, 分子機能学・代謝機能学, 生体防御学, 代謝・内分泌内科学, 総合診療・検査診断学, 麻酔・蘇生・疼痛管理学, 放射線医学, 眼科学, 精神科学, 微生物学, 救急・集中治療医学, 薬物動態学 Department of Anatomy, Department of Cell Biology and Morphology, Department of Cell Physiology, Department of Cellular and Organ Pathology, Department of Biochemistry and Metabolic Science, Department of Immunology, Department of Metabolism and Endocrinology, Department of General Medical Practice and Laboratory Diagnostic Medicine, Department of Anesthesia and Intensive Care Medicine, Department of Radiology, Department of Ophthalmology, Department of Neuropsychiatry, Department of Medical Biology, Department of Emergency and Critical Care Medicine, Department of Pharmacokinetics.
腫瘍制御医学系 Oncoregulatory Medicine	分子生化学, 分子病態学・腫瘍病態学, 消化器内科学・神経内科学, 血液・腎臓・膠原病内科学, 消化器外科学, 胸部外科学, 腎泌尿器科学, 臨床腫瘍学, 地域がん医療学 Department of Molecular Medicine and Biochemistry, Department of Molecular Pathology and Tumor Pathology, Department of Gastroenterology and Neurology, Department of Hematology, Nephrology, and Rheumatology, Department of Gastroenterological Surgery, Department of Thoracic Surgery, Department of Urology, Department of Clinical Oncology, Department of Comprehensive Cancer Control.
機能展開医学系 Organ Function- Oriented Medicine	器官・統合生理学, 心臓血管外科学, 整形外科学, 皮膚科学・形成外科学, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学, 脳神経外科学, 循環器内科学, 呼吸器内科学, 情報制御学・実験治療学, 小児科学, 産婦人科学, 小児外科学 Department of Integrative Physiology, Department of Cardiovascular Surgery, Department of Orthopedic Surgery, Department of Dermatology and Plastic Surgery, Department of Otorhinolaryngology -Head and Neck Surgery, Department of Neurosurgery, Department of Cardiovascular Medicine, Department of Respiratory Medicine, Department of Biological Informatics and Experimental Therapeutics, Department of Pediatrics, Department of Obstetrics and Gynecology, Department of Pediatric Surgery.
社会環境医学系 Public Health and Environmental Medicine	法医学, 衛生学・公衆衛生学, 地域心身医療学, 医学教育学, 先進デジタル医療・医療教育学, 医療情報学 Department of Forensic Sciences, Department of Environmental health science and Public Health, Department of Community-based Psychosomatic Health Care, Department of Medical Education, Department of Innovative and Digitalized Medical Education, Department of Medical Informatics.
臨床教育協力部門 Section of Clinical Educational Cooperation	薬剤学, 歯科口腔外科学, 腎疾患先端医療学 Department of Pharmacy, Department of Dentistry and Oral Surgery, Department of Advanced Treatment for Kidney Disease

保健学専攻 Doctoral Course in Health Sciences	
講座名 Department	
看護学 Nursing 理学療法 Physical Therapy 作業療法 Occupational Therapy	
医学部 Faculty of Medicine	
寄附講座 Endowed Departments	
男鹿なまはげ地域医療・ 総合診療連携講座 (R6.4.1~R7.3.31) Regional Collaborative Department of Oga Namahage Community Medicine	
不整脈先進治療学講座 (R4.4.1~R7.3.31) Division of Advanced Arrhythmia Management	
仙北ウェルビーイング 地域医療・総合診療連携講座 (R6.4.1~R7.3.31) Regional Collaborative Department of Senboku Well-being Community Medicine	
寄附研究部門 Endowed Research Departments	
ひと街づくり研究所 (R6.7.10~R7.7.9) Insitute for Human and Community Development	



①歴代学部長等 Chronological Lists of Deans and Directors

医学系研究科長 Deans, Graduate School of Medicine			
氏名	Name	在任期間	Term of Office
本橋 豊	Yutaka Motohashi	平成 21.4.1 ~平成 24.3.31	April 1, 2009 ~ March 31, 2012
澤田 賢一	Kenichi Sawada	平成 24.4.1 ~平成 26.3.31	April 1, 2012 ~ March 31, 2014
伊藤 宏	Hiroshi Ito	平成 26.4.1 ~平成 29.3.31	April 1, 2014 ~ March 31, 2017
尾野 恭一	Kyoichi Ono	平成 29.4.1 ~令和 4.3.31	April 1, 2017 ~ March 31, 2022
羽瀨 友則	Tomonori Habuchi	令和 4.4.1 ~	April 1, 2022 ~

※平成21年度から大学院医学系研究科の部局化による。

医学部長 Deans, School of Medicine			
氏名	Name	在任期間	Term of Office
九嶋 勝司	Katsuji Kushima	昭和 45. 4.1 ~昭和 51. 2.22	April 1, 1970 ~ February 22, 1976
中井 健五	Kengo Nakai	昭和 51. 2.23 ~昭和 55. 2.22	February 23, 1976 ~ February 22, 1980
渡部 美種	Yoshitane Watabe	昭和 55. 2.23 ~昭和 61. 2.22	February 23, 1980 ~ February 22, 1986
加美山 茂利	Shigetoshi Kamiyama	昭和 61. 2.23 ~平成 2. 2.22	February 23, 1986 ~ February 22, 1990
綿貫 勤	Tsutomu Watanuki	平成 2. 2.23 ~平成 6. 2.22	February 23, 1990 ~ February 22, 1994
小川 哲朗	Tetsuro Ogawa	平成 6. 2.23 ~平成 8. 2.22	February 23, 1994 ~ February 22, 1996
正宗 研	Osamu Masamune	平成 8. 2.23 ~平成 10. 2.22	February 23, 1996 ~ February 22, 1998
三浦 亮	Akira Miura	平成 10. 2.23 ~平成 13. 2.22	February 23, 1998 ~ February 22, 2001
飯島 俊彦	Toshihiko Iijima	平成 13. 2.23 ~平成 19. 3.31	February 23, 2001 ~ March 31, 2007
本橋 豊	Yutaka Motohashi	平成 19. 4.1 ~平成 24. 3.31	April 1, 2007 ~ March 31, 2012
澤田 賢一	Kenichi Sawada	平成 24. 4.1 ~平成 26. 3.31	April 1, 2012 ~ March 31, 2014
伊藤 宏	Hiroshi Ito	平成 26. 4.1 ~平成 29. 3.31	April 1, 2014 ~ March 31, 2017
尾野 恭一	Kyoichi Ono	平成 29. 4.1 ~令和 4 3.31	April 1, 2017 ~ March 31, 2022
羽瀨 友則	Tomonori Habuchi	令和 4. 4.1 ~	April 1, 2022 ~

附属病院長 Directors, University Hospital

氏名	Name	在任期間	Term of Office
前多豊吉	Toyokishi Maeta	昭和46. 4.1～昭和51. 4.1	April 1,1971～April 1,1976
浦山晃	Akira Urayama	昭和51. 4.2～昭和55. 4.1	April 2,1976～April 1,1980
増田久之	Hisayuki Masuda	昭和55. 4.2～昭和56. 8.9	April 2,1980～August 9,1981
金澤知博	Tomohiro Kanazawa	昭和56. 8.10～昭和60. 8.9	August 10,1981～August 9,1985
眞木正博	Masahiro Maki	昭和60. 8.10～平成元. 8.9	August 10,1985～August 9,1989
加藤敏郎	Toshio Kato	平成元. 8.10～平成3. 8.9	August 10,1989～August 9,1991
阿保七三郎	Shichisaburo Abo	平成3. 8.10～平成7. 8.9	August 10,1991～August 9,1995
小山研二	Kenji Koyama	平成7. 8.10～平成9. 8.9	August 10,1995～August 9,1997
佐藤光三	Kozo Sato	平成9. 8.10～平成13. 3.31	August 10,1997～March 31,2001
櫻木章三	Shozo Sakuragi	平成13. 4.1～平成15. 3.31	April 1,2001～March 31,2003
加藤哲夫	Tetsuo Kato	平成15. 4.1～平成19. 3.31	April 1,2003～March 31,2007
溝井和夫	Kazuo Mizoi	平成19. 4.1～平成22. 3.31	April 1,2007～March 31,2010
荏原順一	Junichi Chihara	平成22. 4.1～平成24. 5.15	April 1,2010～May 15,2012
(事務取扱) 澤田賢一	Kenichi Sawada	平成24. 5.16～平成24. 6.30	May 16,2012～June 30,2012
伊藤宏	Hiroshi Ito	平成24. 7.1～平成26. 3.31	July 1,2012～March 31,2014
羽瀧友則	Tomonori Habuchi	平成26. 4.1～平成31. 3.31	April 1,2014～March 31,2019
南谷佳弘	Yoshihiro Minamiya	平成31. 4.1～令和6. 3.31	April 1,2019～March 31,2024
渡邊博之	Hiroyuki Watanabe	令和6. 4.1～	April 1,2024～



②名誉教授

Emeritus Professors

氏名 Name	在職中担当講座 Specialty	称号授与年月日 Date of Awarding
須藤恒久 Tsunehisa Suto	微生物学講座 Microbiology	平成4.4.1 April 1, 1992
綿貫勤 Tsutomu Watanuki	病理学第一講座 Pathology I	平成6.4.1 April 1, 1994
滝澤行雄 Yukio Takizawa	公衆衛生学講座 Public Health	平成7.4.1 April 1, 1995
阿保七三郎 Shichisaburo Abo	外科学第二講座 Surgery II	平成8.4.1 April 1, 1996
小川哲朗 Tetsuro Ogawa	生理学第一講座 Biochemistry I	平成9.4.1 April 1, 1997
菱川泰夫 Yasuo Hishikawa	精神科学講座 Psychiatry	平成10.4.1 April 1, 1998
田島陽太郎 Youtaro Tashima	生化学第二講座 Biochemistry II	平成13.4.1 April 1, 2001
佐藤光三 Kozo Sato	整形外科学講座 Orthopedic Surgery	平成13.4.1 April 1, 2001
吉村堅太郎 Kentaro Yoshimura	寄生虫学講座 Parasitology	平成14.4.1 April 1, 2002
加藤哲郎 Testuro Kato	泌尿器科学講座 Urology	平成15.4.1 April 1, 2003
櫻木章三 Shozo Sakuragi	眼科学講座 Ophthalmology	平成15.4.1 April 1, 2003
中込治 Osamu Nakagomi	社会環境医学講座 Social Medicine	平成15.5.1 May 1, 2003
佐藤暢雄 Nobuo Sato	社会環境医学講座 Social Medicine	平成17.4.1 April 1, 2005
伊藤正毅 Seiki Ito	内科学講座 Internal Medicine	平成17.10.1 October 1, 2005
飯島俊彦 Toshihiko Iijima	機能制御医学講座 Physiology and Pharmacology	平成19.4.1 April 1, 2007
加藤哲夫 Tetsuo Kato	外科学講座 Surgery	平成19.4.1 April 1, 2007
高田五郎 Goro Takada	生殖発達医学講座 Reproductive and Developmental Medicine	平成19.4.1 April 1, 2007
吉崎克明 Katsuki Yoshizaki	基礎看護学講座 Basic Nursing	平成20.4.1 April 1, 2008
渡會二郎 Jiro Watarai	統合医学講座 Integrated Medicine	平成21.4.1 April 1, 2009
鈴木敏夫 Toshio Suzuki	薬剤部 Pharmacy	平成21.4.1 April 1, 2009
稲場 齊 Hitoshi Inaba	基礎理学療法学講座 Basic Physical Therapy	平成21.4.1 April 1, 2009
増田弘毅 Hirotake Masuda	器官病態学講座 Cellular and Organ Pathology	平成22.4.1 April 1, 2010
田中俊誠 Toshinobu Tanaka	産婦人科学講座 Obstetrics and Gynecology	平成22.4.1 April 1, 2010
吉岡尚文 Naofumi Yoshioka	社会環境医学講座 Social Medicine	平成24.4.1 April 1, 2012
榎本克彦 Katsuhiko Enomoto	分子病態学・腫瘍病態学講座 Department of Molecular Pathology and Tumor Pathology	平成25.4.1 April 1, 2013
中村 彰 Akira Nakamura	医科学情報学・国際交流学講座 Department of Medical Information Science and Global Issues in Medicine	平成25.4.1 April 1, 2013
水沼秀夫 Hideo Mizunuma	基礎看護学講座 Basic Nursing	平成25.4.1 April 1, 2013
浅沼義博 Yoshihiro Asanuma	臨床看護学講座 Department of Clinical Nursing	平成26.4.1 April 1, 2014
多治見公高 Kimitaka Tajimi	救急・集中治療医学講座 Department of Emergency and Critical Care Medicine	平成26.9.1 September 1, 2014
大友和夫 Kazuo Otomo	作業療法学講座 Department of Occupational Therapy	平成27.4.1 April 1, 2015

氏名 Name	在職中担当講座 Specialty	称号授与年月日 Date of Awarding
進藤伸一 Shinichi Shindo	理学療法学講座 Department of Physical Therapy	平成27.4.1 April 1, 2015
妹尾春樹 Haruki Seno	細胞生物学講座 Department of Cell Biology and Morphology	平成28.4.1 April 1, 2016
湯浅孝男 Takao Yuasa	作業療法学講座 Department of Occupational Therapy	平成28.4.1 April 1, 2016
工藤俊輔 Shunsuke Kudo	理学療法学講座 Department of Physical Therapy	平成28.4.1 April 1, 2016
石井範子 Noriko Ishii	基礎看護学講座 Department of Basic Nursing	平成29.4.1 April 1, 2017
阿部 寛 Hiroshi Abe	形態解析学・器官構造学講座 Department of Anatomy	平成30.4.1 April 1, 2018
塩谷隆信 Tadanobu Shioya	理学療法学講座 Department of Physical Therapy	平成30.4.1 April 1, 2018
清水徹男 Tetsuo Shimizu	精神科学講座 Department of Neuropsychiatry	平成30.4.1 April 1, 2018
西川俊昭 Toshiaki Nishikawa	麻酔・蘇生・疼痛管理学講座 Department of Anesthesia and Intensive Care Medicine	平成31.4.1 April 1, 2019
眞鍋 求 Motomu Manabe	皮膚科学・形成外科学講座 Department of Dermatology and Plastic Surgery	平成31.4.1 April 1, 2019
村田勝敬 Katsuyuki Murata	環境保健学講座 Department of Environmental Health Sciences	平成31.4.1 April 1, 2019
吉富健志 Takeshi Yoshitomi	眼科学講座 Department of Ophthalmology	平成31.4.1 April 1, 2019
山田祐一郎 Yuichiro Yamada	内分泌・代謝・老年内科学講座 Department of Endocrinology, Diabetes and Geriatric Medicine	令和2.4.1 April 1, 2020
平元 泉 Izumi Hiramoto	母子看護学講座 Department of Maternity of Child Nursing	令和2.4.1 April 1, 2020
河谷正仁 Masahito Kawatani	器官・統合生理学講座 Department of Neurophysiology	令和3.4.1 April 1, 2021
篠原ひとみ Hitomi Shinohara	看護学講座 Department of Nursing	令和3.4.1 April 1, 2021
佐藤 滋 Shigeru Sato	腎疾患先端医療センター Center for Kidney Disease and Transplantation	令和3.4.1 April 1, 2021
橋本 学 Manabu Hashimoto	放射線医学講座 Department of Radiology	令和4.4.1 April 1, 2022
山本雄造 Yuzo Yamamoto	消化器外科学講座 Department of Gastroenterological Surgery	令和4.4.1 April 1, 2022
金城正治 Masaji Kinjyo	作業療法学講座 Department of Occupational Therapy	令和4.4.1 April 1, 2022
佐々木 真紀子 Makiko Sasaki	看護学講座 Department of Nursing	令和4.4.1 April 1, 2022
新山喜嗣 Yoshitsugu Niyama	作業療法学講座 Department of Occupational Therapy	令和4.4.1 April 1, 2022
山本浩史 Hiroshi Yamamoto	心臓血管外科学講座 Department of Cardiovascular Surgery	令和5.4.1 April 1, 2023
石川隆志 Takashi Ishikawa	作業療法学講座 Department of Occupational Therapy	令和5.4.1 April 1, 2023
伊藤登茂子 Tomoko Ito	看護学講座 Department of Nursing	令和5.4.1 April 1, 2023
岡田恭司 Koji Okada	理学療法学講座 Department of Physical Therapy	令和5.4.1 April 1, 2023
兒玉英也 Hideya Kodama	看護学講座 Department of Nursing	令和5.4.1 April 1, 2023
美作宗太郎 Soutaro Mimasaka	法医学講座 Department of Forensic Sciences	令和6.3.1 May 1, 2024

③ 役職員等

Administration Staffs

令和6年7月現在 As of July, 2024

医学系研究科長・医学部長 Dean, Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine	羽 瀧 友 則 Tomonori Habuchi	副研究科長(医学専攻担当) Deputy Dean, Graduate School of Medicine (Doctoral Course in Medicine)	宮 腰 尚 久 Naohisa Miyakoshi
附属病院長 Director, University Hospital	渡 邊 博 之 Hiroyuki Watanabe	副研究科長(保健学専攻担当),保健学専攻長・保健学科長 Deputy Dean, Graduate School of Medicine (Doctoral Course in Health Sciences) Director, Doctoral Course in Health Sciences and School of Health Sciences	安 藤 秀 明 Hideaki Ando
附属図書館医学部分館長 Director, Medical School Library	大 森 泰 文 Yasufumi Omori	研究科長補佐(医学専攻担当) Advisor to the Dean (Doctoral Course in Medicine)	海老原 敬 Takashi Ebihara
テクニカルセンター長 Director, Medical Technology Center	羽 瀧 友 則 Tomonori Habuchi	研究科長補佐(保健学専攻担当) Advisor to the Dean (Doctoral Course in Health Sciences)	若 狭 正 彦 Masahiko Wakasa
副研究科長(医学専攻担当) Deputy Dean, Graduate School of Medicine (Doctoral Course in Medicine)	板 東 良 雄 Yoshio Bando		

役職員・医学専攻・医学科執行役員会議 Faculty Executive Board Meeting

研究科長,医学専攻長・医学科長,執行役員会議議長 Dean, Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine, Chief Executive Officer	羽 瀧 友 則 Tomonori Habuchi	医学専攻・医学科予算委員長 Director, Budget	大 森 泰 文 Yasufumi Omori
附属病院長 Director, University Hospital	渡 邊 博 之 Hiroyuki Watanabe	医学系研究科・医学部倫理委員長 Director, Ethics	脇 裕 典 Hironori Waki
教育研究評議会評議員,研究科長が推薦する副研究科長,医学専攻・医学科評価委員長 Councilor of Educational and Research Council, Deputy Dean of recommended by the Dean, Director, Evaluation	板 東 良 雄 Yoshio Bando	医学専攻・医学科入試委員長 Director, Entrance exam	後 藤 明 輝 Akiteru Goto
研究科長が推薦する副研究科長 Deputy Dean of recommended by the Dean	宮 腰 尚 久 Naohisa Miyakoshi	医学専攻長が指名する者 Person recommended by the Dean	寺 田 幸 弘 Yukihiro Terada
研究科長が推薦する研究科長補佐 Advisor to the Dean of recommended by the Dean,	海老原 敬 Takashi Ebihara	医学専攻長が指名する者 Person recommended by the Dean	植 木 重 治 Shigeharu Ueki
医学専攻・医学科学務委員長 Director, Education	中 山 勝 敏 Katsutoshi Nakayama	事務部長 Executive Officer (Director, Administration Department)	一 條 敬 一 Keiichi Ichijo

役職員・附属病院執行部会議 Executives Meeting

附属病院長 Director, University Hospital	渡 邊 博 之 Hiroyuki Watanabe	病院長補佐 University Hospital Director's Aide	中 永 士 師 明 Hajime Nakae
副病院長 Vice-Director, University Hospital	清 水 宏 明 Hiroaki Shimizu	病院長補佐 University Hospital Director's Aide	岩 瀬 剛 Takeshi Iwase
副病院長 Vice-Director, University Hospital	三 島 和 夫 Kazuo Mishima	病院長補佐 University Hospital Director's Aide	新 山 幸 俊 Yukitoshi Niyama
副病院長 Vice-Director, University Hospital	脇 裕 典 Hironori Waki	病院長補佐 University Hospital Director's Aide	河 野 通 浩 Michihiro Kono
副病院長 Vice-Director, University Hospital	中 村 美 央 Mio Nakamura	病院長補佐 University Hospital Director's Aide	長 谷 川 仁 志 Hitoshi Hasegawa
病院長補佐 University Hospital Director's Aide	寺 田 幸 弘 Yukihiro Terada	病院長補佐 University Hospital Director's Aide	一 條 敬 一 Keiichi Ichijo

大学院医学系研究科・医学専攻

Graduate School of Medicine Doctoral Course in Medicine

系 Division	講座 Department	教授 Professor	系 Division	講座 Department	教授 Professor
病態制御 医学系 Bioregulatory Medicine	形態解析学・器官構造学 Department of Anatomy	板 東 良 雄 Yoshio Bando	機能展開 医学系 Organ Function- Oriented Medicine	器官・統合生理学 Department of Integrative Physiology	沼 田 朋 大 Tomohiro Numata
	細胞生物学 Department of Cell Biology and Morphology	八月朔日 泰 和 Yasukazu Hozumi		心臓血管外科学 Department of Cardiovascular Surgery	中 嶋 博 之 Hiroyuki Nakajima
	細胞生理学 Department of Cell Physiology	三 木 崇 史 Takafumi Miki		整形外科学 Department of Orthopedic Surgery	宮 腰 尚 久 Naohisa Miyakoshi
	器官病態学 Department of Cellular and Organ Pathology	後 藤 明 輝 Akiteru Goto		皮膚科学・形成外科学 Department of Dermatology and Plastic Surgery	河 野 通 浩 Michihiro Kono
	分子機能学・代謝機能学 Department of Biochemistry and Metabolic Science	松 村 欣 宏 Yoshihiro Matsumura		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 Department of Otorhinolaryngology- Head and Neck Surgery	山 田 武 千 代 Takechiyo Yamada
	生体防御学 Department of Immunology	石 井 聡 Satoshi Ishii		脳神経外科学 Department of Neurosurgery	清 水 宏 明 Hiroaki Shimizu
	代謝・内分泌内科学 Department of Metabolism and Endocrinology	脇 裕 典 Hironori Waki		循環器内科学 Department of Cardiovascular Medicine	渡 邊 博 之 Hiroyuki Watanabe
	総合診療・検査診断学 Department of General Internal Medicine and Clinical Laboratory Medicine	植 木 重 治 Shigeharu Ueki		呼吸器内科学 Department of Respiratory Medicine	中 山 勝 敏 Katsutoshi Nakayama
	麻酔・蘇生・疼痛管理学 Department of Anesthesia and Intensive Care Medicine	新 山 幸 俊 Yukitoshi Niyama		情報制御学・実験治療学 Department of Biological Informatics and Experimental Therapeutics	齋 藤 康 太 Kota Saito
	放射線医学 Department of Radiology	森 菜 緒 子 Naoko Mori		小児科学 Department of Pediatrics	高 橋 勉 Tsutomu Takahashi
	眼科学 Department of Ophthalmology	岩 瀬 剛 Takeshi Iwase		産婦人科学 Department of Obstetrics and Gynecology	寺 田 幸 弘 Yukihiro Terada
	精神科学 Department of Neuropsychiatry	三 島 和 夫 Kazuo Mishima		小児外科学 Department of Pediatric Surgery	
	腫瘍制御 医学系 Oncoregulatory Medicine	微生物学 Department of Medical Biology		海老原 敬 Takashi Ebihara	社会環境 医学系 Public Health and Environmental Medicine
救急・集中治療医学 Department of Emergency and Critical Care Medicine		中 永 士 師 明 Hajime Nakae	衛生学・公衆衛生学 Department of Environmental health science and Public Health	野 村 恭 子 Kyoko Nomura	
薬物動態学 Department of Pharmacokinetics		三 浦 昌 朋 Masatomo Miura	地域心身医療学 Department of Community-based Psychosomatic Health Care		
分子生化学 Molecular medicine and biochemistry		田 中 正 光 Masamitsu Tanaka	医学教育学 Department of Medical Education	長谷川 仁 志 Hitoshi Hasegawa	
分子病態学・腫瘍病態学 Department of Molecular Pathology and Tumor Pathology		大 森 泰 文 Yasufumi Omori	先進デジタル医学・医療教育学 Department of Innovative and Digitalized Medical Education	及 川 沙 耶 佳 Sayaka Oikawa	
消化器内科学・神経内科学 Department of Gastroenterology and Neurology		飯 島 克 則 Katsunori Iijima	医療情報学 Department of Medical Informatics	大 坪 徹 也 Tetsuya Otsubo	
血液・腎臓・膠原病内科学 Department of Hematology, Nephrology, and Rheumatology		高 橋 直 人 Naoto Takahashi			
消化器外科学 Department of Gastroenterological Surgery		有 田 淳 一 Junichi Arita			
胸部外科学 Department of Thoracic Surgery					
腎泌尿器科学 Department of Urology		羽 瀧 友 則 Tomonori Habuchi			
臨床腫瘍学 Department of Clinical Oncology	柴 田 浩 行 Hiroyuki Shibata				
地域がん医療学 Department of Comprehensive Cancer Control					

大学院医学系研究科・保健学専攻 Graduate School of Medicine Doctoral Course in Health Science

講座 Department	教授 Professor	講座 Department	教授 Professor
看護学 Department of Nursing	吉岡 政人 Masato Yoshioka	理学療法学 Department of Physical Therapy	佐竹 将宏 Masahiro Satake
	工藤 由紀子 Yukiko Kudo		竹内 直行 Naoyuki Takeuchi
	安藤 秀明 Hideaki Ando		若狭 正彦 Masahiko Wakasa
	眞壁 幸子 Sachiko Makabe		本郷 道生 Michio Hongo
	鈴木 圭子 Keiko Suzuki	作業療法学 Department of Occupational Therapy	吉岡 年明 Toshiaki Yoshioka
	米山 奈奈子 Nanako Yoneyama		太田 英伸 Hidenobu Ohta
	成田 好美 Yoshimi Narita		久米 裕 Yu Kume
大高 麻衣子 Maiko Otaka			

医学部 Faculty Medicine

寄附講座 Endowed Departments	男鹿なまはげ地域医療・総合診療連携講座 Regional Collaborative Department of Oga Namahage Community Medicine	寄附講座等教員 Endowed Chair Researchers	1人
	不整脈先進治療学講座 Division of Advanced Arrhythmia Management	寄附講座等教員 Endowed Chair Researchers	1人
	仙北ウェルビーイング地域医療・総合診療連携講座 Regional Collaborative Department of Senboku Well-being Community Medicine	寄附講座等教員 Endowed Chair Researchers	1人
寄附研究部門 Endowed Research Department	ひと街づくり研究所 Institute for Human and Community Development		



保健学科棟
Building for Health Science

診療科 Clinical Divisions		
消化器内科 Gastroenterology	科長(兼)(教授) Director Professor	飯島克則 Katsunori Iijima
脳神経内科 Neurology	科長(兼)(教授) Director Professor	飯島克則 Katsunori Iijima
循環器内科 Cardiovascular Medicine	科長(兼)(教授) Director Professor	渡邊博之 Hiroyuki Watanabe
呼吸器内科 Respiratory Medicine	科長(兼)(教授) Director Professor	中山勝敏 Katsutoshi Nakayama
血液内科 Hematology	科長(兼)(教授) Director Professor	高橋直人 Naoto Takahashi
腎臓内科 Nephrology	科長(兼)(教授) Director Professor	高橋直人 Naoto Takahashi
リウマチ科 Rheumatology	科長(兼)(教授) Director Professor	高橋直人 Naoto Takahashi
糖尿病・内分泌内科 Diabetes and Endocrinology	科長(兼)(教授) Director Professor	脇裕典 Hironori Waki
老年内科 Geriatric Medicine	科長(兼)(教授) Director Professor	脇裕典 Hironori Waki
消化器外科 Gastroenterological Surgery	科長(兼)(教授) Director Professor	有田淳一 Junichi Arita
呼吸器外科 Chest Surgery	科長(兼)(准教授) Director Associate Professor	今井一博 Kazuhiro Imai
食道外科 Esophageal Surgery	科長(兼)(准教授) Director Associate Professor	今井一博 Kazuhiro Imai
乳腺・内分泌外科 Breast and Endocrine Surgery	科長(兼)(准教授) Director Associate Professor	今井一博 Kazuhiro Imai
心臓血管外科 Cardiovascular Surgery	科長(兼)(教授) Director Professor	中嶋博之 Hiroyuki Nakajima
脳神経外科 Neurosurgery	科長(兼)(教授) Director Professor	清水宏明 Hiroaki Shimizu
小児外科 Pediatric Surgery	科長(兼)(准教授) Director Associate Professor	水野大 Masaru Mizuno
小児科 Pediatrics	科長(兼)(教授) Director Professor	高橋勉 Tsutomu Takahashi
産科婦人科 Obstetrics and Gynecology	科長(兼)(教授) Director Professor	寺田幸弘 Yukihiro Terada
精神科 Psychiatry	科長(兼)(教授) Director Professor	三島和夫 Kazuo Mishima
整形外科 Orthopedic Surgery	科長(兼)(教授) Director Professor	宮腰尚久 Naohisa Miyakoshi
皮膚科 Dermatology	科長(兼)(教授) Director Professor	河野通浩 Michihiro Kono
形成外科 Plastic and Reconstructive Surgery	科長(兼)(教授) Director Professor	河野通浩 Michihiro Kono
泌尿器科 Urology	科長(兼)(教授) Director Professor	羽瀧友則 Tomonori Habuchi
眼科 Ophthalmology	科長(兼)(教授) Director Professor	岩瀬剛 Takeshi Iwase
耳鼻咽喉科 Otorhinolaryngology	科長(兼)(教授) Director Professor	山田武千代 Takechiyo Yamada
放射線診断科 Diagnostic Radiology	科長(兼)(教授) Director Professor	森菜緒子 Naoko Mori
放射線治療科 Radiation Oncology	科長(兼)(教授) Director Professor	森菜緒子 Naoko Mori
麻酔科 Anesthesiology	科長(兼)(教授) Director Professor	新山幸俊 Yukitoshi Niyama
リハビリテーション科 Rehabilitation Medicine	科長(兼)(教授) Director Professor	宮腰尚久 Naohisa Miyakoshi
腫瘍内科 Clinical Oncology	科長(兼)(教授) Director Professor	柴田浩行 Hiroyuki Shibata
救急科 Emergency Medicine	科長(兼)(教授) Director Professor	中永士師明 Hajime Nakae
病理診断科 Clinical Pathology	科長(兼)(准教授) Director Associate Professor	南條博 Hiroshi Nanjo
歯科口腔外科 Dentistry and Oral Surgery	科長(兼)(准教授) Director Associate Professor	福田雅幸 Masayuki Fukuda
高齢者臨床検査科 Geriatric clinical-examination	科長(兼)(教授) Director Professor	渡邊博之 Hiroyuki Watanabe

中央診療施設等 Central Clinical Facilities		
中央検査部 Central Laboratory Division	部長(兼)(教授) Director Professor	植木重治 Shigeharu Ueki
中央手術部 Central Operating Division	部長(兼)(教授) Director Professor	新山幸俊 Yukitoshi Niyama
中央放射線部 Central Radiology Division	部長(兼)(教授) Director Professor	森菜緒子 Naoko Mori
中央材料部 Central Supplying Division	部長(兼)(教授) Director Professor	中嶋博之 Hiroyuki Nakajima
集中治療部 Intensive Care Unit	部長(兼)(教授) Director Professor	中永士師明 Hajime Nakae
高度救命救急センター Advanced Emergency and Critical Care Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	中永士師明 Hajime Nakae
輸血細胞治療・移植再生医療センター Center for Transfusion medicine and cell therapy・Transplant regenerative medicine	センター長(兼)(教授) Director Professor	高橋直人 Naoto Takahashi
リハビリテーション部 Division of Rehabilitation	部長(兼)(准教授) Director Associate Professor	粕川雄司 Yuji Kasukawa
医療情報部 Division of Medical Informatics	部長(兼)(教授) Director Professor	大坪徹也 Tetsuya Otsubo
血液浄化療法部 Division of Blood Purification	部長(兼)(教授) Director Professor	羽瀧友則 Tomonori Habuchi
中央病歴部 Division of Medical Records	部長(兼)(教授) Director Professor	河野通浩 Michihiro Kono
周産母子センター Perinatal Medical Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	寺田幸弘 Yukihiro Terada
病理部 Division of Clinical Pathology	部長(兼)(准教授) Director Associate Professor	南條博 Hiroshi Nanjo
総合診療部 General Clinical Division	部長(兼)(教授) Director Professor	植木重治 Shigeharu Ueki
臨床研究支援センター Clinical Research Promotion and Support Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	三島和夫 Kazuo Mishima
臨床工学センター Clinical Engineering Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	新山幸俊 Yukitoshi Niyama
移植検査センター Center of Histocompatibility and Immunogenetics	センター長(兼)(教授) Director Professor	高橋直人 Naoto Takahashi
総合臨床教育研修センター Center for Medical Education and Training	センター長(兼)(教授) Director Professor	長谷川仁志 Hitoshi Hasegawa
内視鏡・超音波センター Endoscopy and Ultrasonography Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	飯島克則 Katsunori Iijima
遺伝子医療部 Division of Genetic Counselling	部長(兼)(教授) Director Professor	高橋勉 Tsutomu Takahashi
腫瘍情報センター Center for Cancer Registry and Information Services	センター長(兼)(教授) Director Professor	柴田浩行 Hiroyuki Shibata
地域医療患者支援センター Center for Community Healthcare and Patient Support	センター長(兼)(教授) Director Professor	河野通浩 Michihiro Kono
化学療法部 Division of Cancer Chemotherapy	部長(兼)(教授) Director Professor	柴田浩行 Hiroyuki Shibata
緩和ケアセンター Palliative Care Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	安藤秀明 Hideaki Ando
肝疾患相談センター Liver Disease Consultation Center	センター長(兼)(准教授) Director Associate Professor	後藤隆 Takashi Goto
栄養管理部 Division of Nutrition Management	部長(兼)(教授) Director Professor	脇裕典 Hironori Waki
腎疾患先端医療センター Center for Kidney Disease and Transplantation	センター長(兼)(教授) Director Professor	羽瀧友則 Tomonori Habuchi
脳卒中包括医療センター Stroke Comprehensive Medical Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	清水宏明 Hiroaki Shimizu
認知症医療センター Medical Center for the Major Cognitive Disorder	センター長(兼)(教授) Director Professor	渡邊博之 Hiroyuki Watanabe
総合診療医センター General Physician Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	植木重治 Shigeharu Ueki
がんゲノム診療センター Center for Cancer Genome Diagnosis and Treatment	センター長(兼)(教授) Director Professor	柴田浩行 Hiroyuki Shibata
NP室 Division of Nurse Practitioner	室長(兼)(教授) Director Professor	安藤秀明 Hideaki Ando

※発令上の職名を掲載。

医療安全管理部 <small>Division of Medical Security and Patient Safety</small>	
部長(兼) (准教授) Director Associate Professor	木村 哲 Tetsu Kimura
副部長(兼) 薬剤主任 Vice-Director	笹 渕 航 平 Kohei Sasabuchi
副部長(兼) 看護師長 Vice-Director	小 林 育 子 Ikuko Kobayashi

感染制御部 <small>Division of Infection Control and Prevention</small>	
部長(兼) (准教授) Director Associate Professor	嵯 峨 知 生 Tomoo Saga
副部長(兼) 看護師長 Vice Director	石 川 陽 子 Yoko Ishikawa

薬剤部 <small>Department of Pharmacy</small>	
部長(兼) (教授) Director Professor	菊 池 正 史 Masafumi Kikuchi
副薬剤部長(兼) (講師) Vice-Director Lecturer	赤 嶺 由 美 子 Yumiko Akamine
副薬剤部長 Vice-Director	佐々木 克 也 Katsuya Sasaki
副薬剤部長 Vice-Director	加賀谷 英 彰 Hideaki Kagaya

事務部 <small>Administration Department</small>	
部長 Director	一 條 敬 一 Keiichi Ichijo
総務課長 Head of General Affairs Division	小 柳 智 子 Tomoko Oyagi
企画管理課長 Head of planning-Administration Division	熊 谷 文 隆 Fumitaka Kumagai
調達課長 Head of Supplying Division	小 林 一 俊 Kazutoshi Kobayashi
学務課長 Head of Educational Affairs Division	塚 本 紀 彦 Norihiro Tsukamoto
医事課長 Head of Medical Affairs Division	山 形 知 子 Tomoko Yamagata

看護部 <small>Division of Nursing</small>	
部長 Director	中 村 美 央 Mio Nakamura
副部長 Vice-Director	山 田 楼 子 Roko Yamada
副部長 Vice-Director	小 林 禎 子 Teiko Kobayashi
副部長 Vice-Director	小 松 千 賀 子 Chikako Komatsu
副部長 Vice-Director	佐々木 志のぶ Shinobu Sasaki

④ 職員の現員

Number of Staff

令和6年4月現在 As of April, 2024

区 分 Classification	医学系研究科 Graduate School of Medicine		医学部 Faculty of Medicine	附属病院 University Hospital	
	医学専攻 Doctoral Course in Medicine	保健学専攻 Doctoral Course in Health Sciences			
教育系職員	教授 Professor	37 人 (1)	15 人	0 人	1 人
	准教授 Associate Professor	18 (1)	10	0	7
	講師 Lecturer	10	7	0	22
	助教 Research Associate	51 (1)	18	1	48 (11)
小 計 Sub Total		116 (3)	50	1	78 ※ (11)
		166 (3)			
医療系職員(看護師等を除く)		0		0	151
医療系職員(看護師等)		0		0	709
事務・技術系職員 Administration officer, Technical staff		111			
合 計 Total		1,216 ※ (14)			

※ () は特任教員で外数



附属病院高度医療への取り組み

高齢化医療過疎地域における遠隔医療モデルの構築:パート2

秋田県のように限界集落を多く抱え診療所の廃業が増加しつつある広域医療過疎地域では、遠隔医療の推進が県民の健康を保つ重要な役割を果たします。本センターの使命は、遠隔医療に関わる研究を通じて、広域医療過疎地域における新しい医療の在り方を模索および実装することです。近年の入院病床を機能分化させる政府の施策によって、急性期治療病院と慢性期療養病院が分かれ、「治す」医療と「癒す」医療の分離が進みました。さらに人口減少を見据えて療養型病床数の減少が見込まれますので、将来的に急性期治療後の療養入院が難しくなり、在宅療養が病後の健康保全の主軸になります。それ故、昨今の医療の高度化・専門化が進む中、大学病院から離れた地域での在宅療養においては、オンライン診療等を用いて専門的医療を受けられるようにすることが重要です。2024年3月20日には医療MaaS(Mobility as a Service)と呼ばれる医療機器と通信機器を装備した車両を用いた医療を開始しました(写真左)。これは車両が患者さんの居宅近傍まで赴き、体調変化について通信機器を介する医師との相談(写真右)に加え、バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数、経皮的酸素飽和度、意識状態)の評価や簡易血液検査、尿検査、超音波検査、呼吸機能検査などを可能にし(D to P with N, Doctor to Patient with Nurse)、必要ならば近隣の病院・診療所へ紹介します。この方法によって患者さんの受診に係る心理的・身体的・経済的負担が小さくなります。その他の活動としては、2次医療圏の総合病院におけるオンライン診療(D to P with D, Doctor to Patient with Doctor)応援に加え、生体センサーを用いたバイタルサインを含む生体情報のモニタリング技術、循環器病棟における心電図モニターによる「アラーム疲労」を軽減する技術を開発する見込みです。この新しい医療モデルの構築では、これらの分野に精通した人材が参画していく予定です。

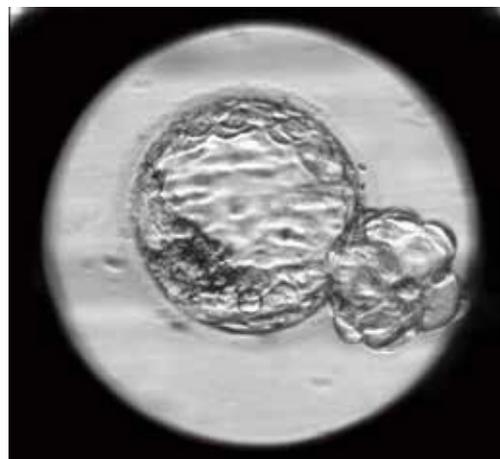


タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養

2022年4月から生殖補助医療(体外受精、顕微授精)が保険適応となり、社会での不妊治療への関心、期待が高まっています。本院では2023年7月1日から先進医療である「タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養」をその認定施設として行なっています。タイムラプス撮像法は一定時間ごとに同じ場所で写真を撮影し、それらをつなぎ合わせることで連続した動画のように見せる技術です。星空の観察や街並みの風景などの撮影にも用いられています。生殖補助医療ではタイムラプス装置搭載型培養器を用いることで、培養している受精卵・胚を外部のモニターで連続的に観察することに用いられています。培養器内は受精卵・胚にとって適切な環境に設定されており、従来のように観察のたびに培養器の外に取り出すと、光への曝露、温度変化、pH変化のため受精卵・胚に負担がかかります。タイムラプス装置搭載型培養器を用いることで受精卵・胚への負担を少なく、連続的に胚発育の観察が可能になります。通常の月経周期では1個の卵子が排卵し、精子と受精することで妊娠が成立します。生殖補助医療ではホルモン剤による卵巣刺激によって一度に複数の卵子を回収し、その後の体外受精、顕微授精で複数の受精卵・胚を獲得することができます。しかし、複数の胚を同時に子宮内に移植すると多胎のリスクがあり、基本的には1個の胚を移植することになります。そのため最も妊娠に至る可能性が高いと考えられる良好胚を選別することが重要となります。良好胚の選別にはある一点における胚の形態評価(Veeck分類、Gardner分類など)が広く普及しています。胚発育の連続的な観察は良好胚の選別に有用であるとの報告があり、本先進医療の導入によって不妊治療成績(妊娠率、着床率、生産率)のさらなる向上が期待されます。



タイムラプス装置搭載型培養器



タイムラプス装置搭載型培養器で孵化を開始した胚盤胞

内視鏡手術支援ロボット「Da Vinci」 「hinotori」

秋田大学医学部附属病院は、秋田県による支援のもと、内視鏡手術ロボットDa Vinci Surgical System(以下、ダヴィンチ)を2012年に秋田県内では初めて導入、手術を開始しました。現在は最新型のダヴィンチXiを使用しています。ダヴィンチは、ロボット手術部分には4本のアームがあり、そのうち3本には鉗子(かんし)やメス、残りの1本に3Dカメラが装着されており、操作部に座った執刀医は4本のアームを自分で遠隔コントロールしながら3D画面の高画質内視鏡下で手術を進めます。鉗子(かんし)が直線的な動きしかできない従来の腹腔鏡手術に対して、ダヴィンチの鉗子やハサミ等は、人間の手よりも可動域が広く、複雑な動きができる関節がついており、さらに手ぶれを補正する機能もついているため、より複雑で繊細な動きが可能となり、繊細でハイレベルな患者さんへの負担の少ない手術が可能になりました。また、今後もロボット支援手術の適応も症例数も拡大していくと思われ、2023年6月からは遠隔医療やサージカルデータサイエンスも見据えて新規国産手術支援ロボット「hinotori」も導入しました。秋田大学医学部附属病院では泌尿器科の前立腺全摘除から始め、腎臓、膀胱、食道、子宮、縦郭、肺へと適応を拡大し、年々件数が増え、現在4診療科で年間200例を超え、これまで1500例以上のダヴィンチ手術と30例以上のヒノトリ手術が行なわれました。秋大病院のロボットによる低侵襲手術法は大きな変革期に来ています。



夢をカタチにする、秋田が誇る異分野連携の力

－電界攪拌技術を応用した術中・迅速免疫組織化学染色－

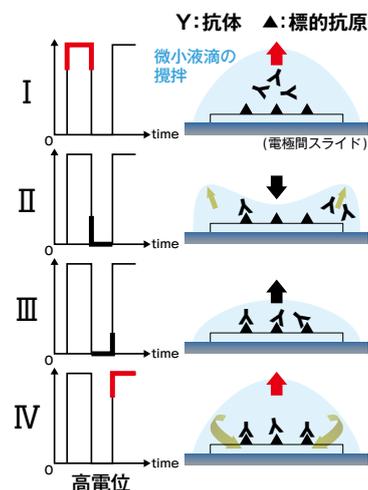
JCOG0802/WJOG4607L 試験は、肺野末梢小型(最大腫瘍径 2cm 以下)非小細胞肺癌において、肺機能を温存する区域切除術の優越性が初めて示された、日本が世界に先駆けて報告した臨床試験です。その肺区域切除術が根治術となり得るためには、本来 pN0(病理学的に肺門・縦隔リンパ節転移がないこと)が必須とされています。リンパ節の術中迅速診断を多用し、転移陽性の場合、標準治療である肺葉切除術に切り替えるなどの工夫がなされていますが、病理組織標本の最も基本的な染色方法であるヘマトキシリン・エオジン染色のみでは、節内辺縁に偏在する微小ながんの転移を同定できない問題を抱えます。微小転移を見つけるためには免疫組織化学染色(以下、免疫染色)が有用とされます。しかし、免疫染色は2時間以上の染色工程－診断時間を必要とするため、今までは術中迅速診断として利用できませんでした。

この問題を解決するため、秋田大学医学部胸部外科学講座が中心となり、秋田エプソンや秋田県産業技術センターと共同研究・技術開発を行い、「電界攪拌技術」を応用した迅速免疫染色装置を開発しました。電界攪拌技術とは、パルス状電界を印加することによって液滴に吸引力が作用、上下方向に振動し、スターラーなどの介在物なしに攪拌反応が進展する世界初の革新的な技術です。免疫染色工程を最短13分まで短縮し、術中に客観的かつ正確な病理診断を得ることに成功しました(Cancer Sci. 2023;114(2):702-711.)。免疫染色による術中診断が可能となることで、がんの様々な生物学的特性を術中・短時間で理解でき、手術精度の向上、再手術が不要となるなど、医師や患者の負担が大幅に低減しました。

分子標的薬や免疫療法の進歩は治療概念を変えつつあります。しかし、分子生物学によるプレジジョン・メディシン(それぞれの患者に合った最適な治療を行う医療)は個別化医療に包含されています。秋田大学が誇る医工連携・個別化医療は、先人が積み上げた技術の継承と治療変革を融合する技術です。



ヒスト・テック®ラビート®
迅速免疫染色装置



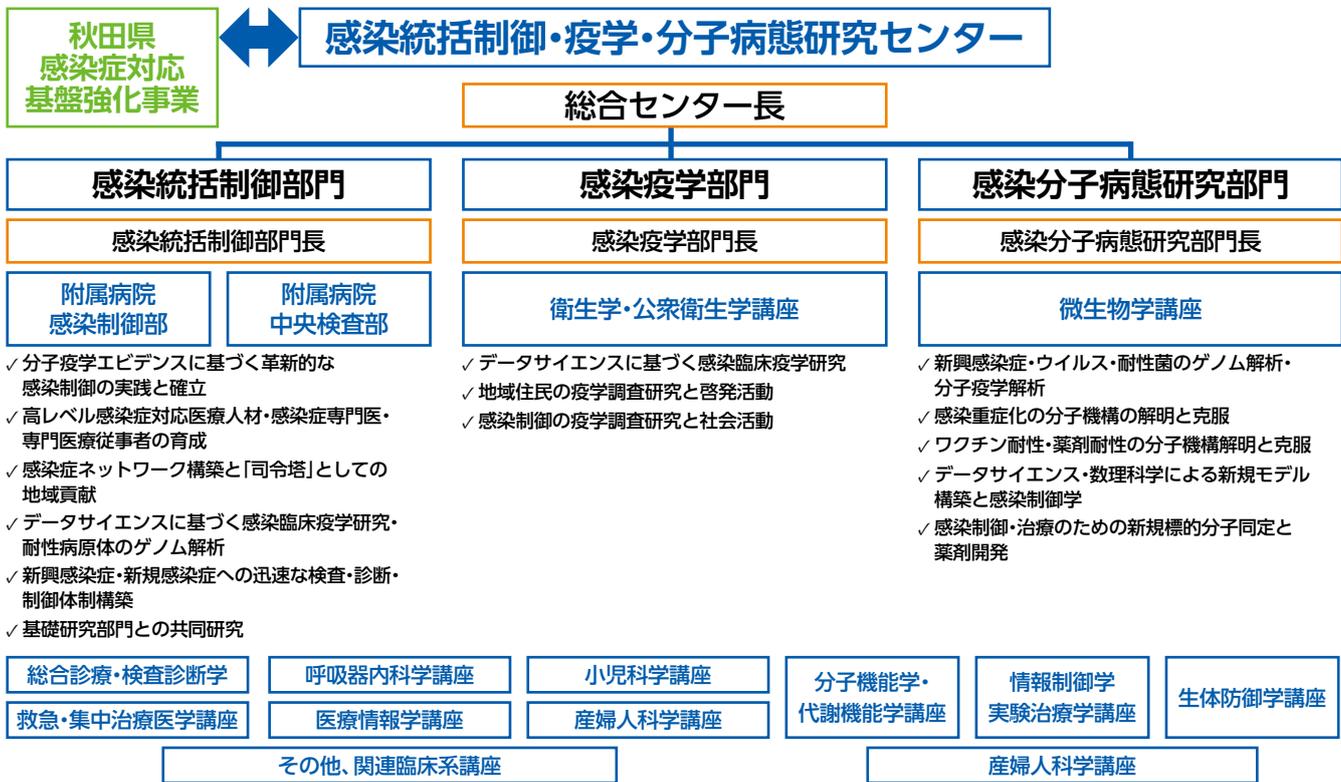
感染統括制御・疫学・分子病態研究センター

本センターは、臨床的には既存の感染症や新興感染症に対応でき、感染制御、感染分子疫学解析、予防戦略と対策を秋田県内関係機関と積極的に共有・還元しながら高レベル感染症対策医療人材を育成し、感染制御ネットワークの「司令塔」として秋田県全体の感染症対策基盤を強化することを目的に、令和5年3月に開設されました。

研究面では、感染疫学研究とその社会的影響を含めた疫学研究、次世代シーケンサ等による病原体(ウイルス・細菌等)ゲノム解析や感染疫学解析、ホストの細菌や細胞内情報伝達レベルの病態生理解析を進め、将来の感染症の予防と新規制御戦略や新規治療開発につながる臨床と基礎研究を統合的に進めます。本センターの設立により、臨床と基礎研究の融合と交流レベルを高め、臨床・研究の両面での活動成果を世界に発信するとともに、感染症対策医療人材、感染症研究者を育成し、感染症の臨床と基礎研究をリードする活動拠点とします。

以上の趣旨と目的達成のために、本センターには以下の3部門を置きます。





[1] 感染統括制御部門

人類は長年、ウイルスや細菌などの目に見えない微生物によって起こる感染症に苦しめられてきました。抗生物質やワクチンは感染症を劇的に減らしましたが、新型コロナは文字通り世界を一変させました。新興感染症は今後も出現すると予想されており、人類と感染症との闘いは今後もずっと続きます。

私たちは新型コロナについて秋田の陣頭指揮を行いながら総力を挙げて診療やワクチン接種を引き受けてきました。実は私たちは新型コロナ流行前から、エボラ出血熱のような危険度の高い感染症患者が秋田に発生した場合に備えて専用の病棟を建設して訓練を重ね、これから海外に赴く方の感染症リスクを下げるために渡航外来を開設して秋田を守ってきました。

本部門は、秋田大学のこれまでの取組みを一層強化することを通じて県全体の感染症対応基盤の強化に貢献しています。例えば、私たちは次世代シーケンサという先進技術を用いて県内初のオミクロン株の新型コロナウイルスの検出を迅速に確定させましたが、本部門ではこれを活用して、新興感染症を起こすウイルスや効くはずの抗生物質が効かない薬剤耐性菌の拡がりの実態を把握して拡散を遮断するために分子疫学解析を行い、革新的な感染制御の確立を目指します。また、高度医療をリードしながら非専門家や一般の方々への教育啓発活動も行うことができる高レベル感染症対応医療人材も育成しています。確かな専門性に根差した感染症ネットワークを構築し、秋田の「司令塔」として私たちは今後も秋田を感染症から守っていきます。

秋田大学 感染統括制御・疫学・分子病態研究センター
 Center for Integrated Control, Epidemiology and Molecular Pathophysiology
 of Infectious Diseases
 (CICEMPID, Akita U)

感染統括制御部門： 秋田大学医学部附属病院 感染制御部・中央検査部

“新型コロナウイルス感染症5類移行後の医療提供体制に係る強化のための相談・研修事業”

- [1] 5月 8日 (月) 17:30-18:30 嵯峨知生医師
新型コロナウイルスの厄介さと心構え -5類移行を踏まえて-
- [2] 5月 9日 (火) 17:30-18:30 佐藤智子看護師・石川陽子看護師長
PPE (個人防護具) の選択と着脱の実践 (訓練を伴う研修会)
- [3] 5月10日 (水) 17:30-18:30 長谷川諒医師
全ての医療機関が対応すべき新型コロナの診療の要点
- [4] 5月17日 (水) 17:30-18:30 石川陽子看護師長
新型コロナのゾーニングの基本

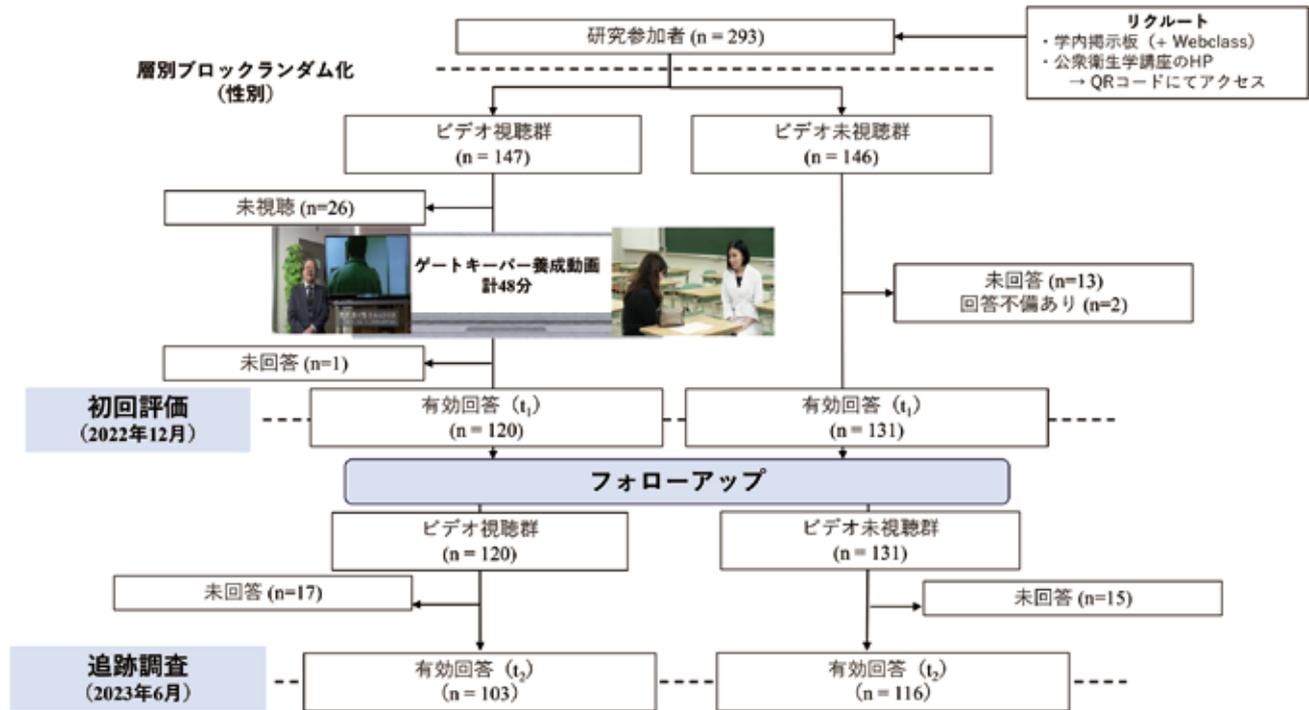


[2] 感染疫学部門

本部門では、「データサイエンスに基づく感染臨床疫学研究」、「地域住民の疫学調査研究と啓発活動」、「感染制御の疫学調査研究と社会活動」の推進を目指します。令和6年で実施した内容として、以下2例紹介します。

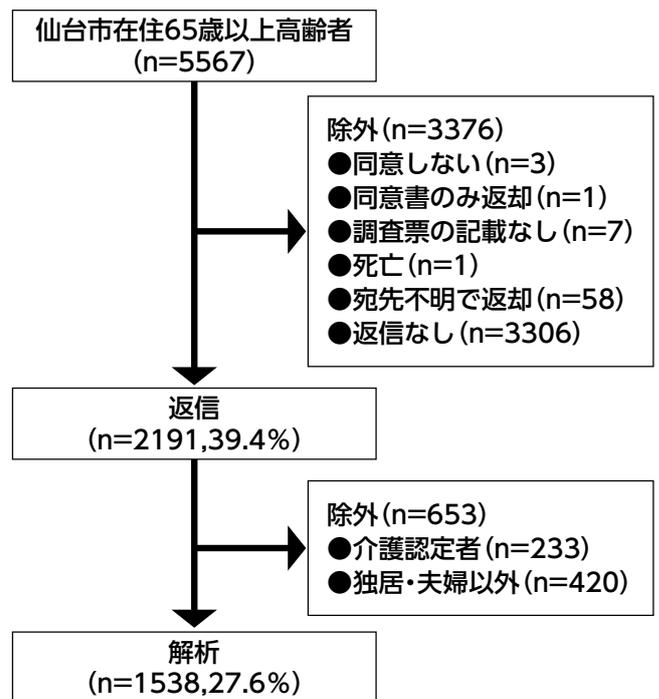
1) 大学キャンパスにおける学生のための学生による自殺のゲートキーパー養成動画と効果検証

新型コロナウイルス感染症流行中、特に2020年から2021年にかけて一部の月で女性や若年層の自殺率が増加し、社会的支援の重要性が指摘されています。我々はキャンパスメンタルヘルス対策として、学生のための学生による自殺のゲートキーパー養成動画を作成し、秋田大学学生293名を対象に無作為化比較試験を実施、自殺のゲートキーパーに求められる知識や技量は確実に動画を見ることによって上昇することを確認しました。現在、国際学術誌に投稿中であり、掲載後にyoutubeで一般公開を行います。



2) 秋田県地域住民の社会的孤立の実態調査

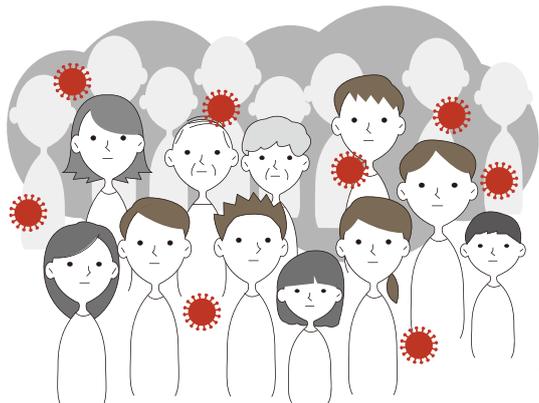
新型コロナウイルス感染症流行をきっかけに地域におけるコミュニケーションが分断され、特に交通弱者であり、複数の健康問題を抱える高齢者が社会的孤立に陥っています。令和6年には、仙北市の協力を得て、65歳以上の高齢者5567名に調査を実施したところ、独居および夫婦高齢者1538名中、1週間に1回以下の外出頻度(閉じこもりと定義)に該当する人が119名(7.7%)いることが明らかとなりました。さらに、このうちの90名は総合的な移動能力は全く問題ないのに、外出頻度が週に1回程度あるいはほとんどしない、と回答していました。世帯秋田県は広大な面積の上に、高齢者が容易に孤立してしまう地域構造があり、人が人とつながるコミュニティのような社会的資源を独自に作る必要があると考えられました。現在は、社会的資源を処方する社会的処方について秋田県での展開方法について質的調査を行っています。



【3】感染分子病態研究部門

我々の部門では、「宿主の感染症防御機構」に関する新しい知見を、遺伝子改変動物を用いて明らかにしてきました(Yamada, Ebihara, et al. J Exp Med 2023; Cui, Ebihara, Ikuta, et al. PNAS 2023)。また、2024年6月に、感染分子病態研究部門の専任教員として教授 松永哲郎先生と助教 長田力先生が着任しました。SARS-CoV-2のようなバイオセーフティーレベル3の病原微生物を取り扱うことが出来る研究者であり、感染症有事の際の大学対応力が強化されました。また、本年度から「感染性汚染環境から秋田県民を守るための基盤的研究」を開始しました。COVID-19流行時は、感染者がいることで空間が汚染され感染が拡大していくことが問題となり、三密を避けることが感染拡大防止に重要とされました。しかし、空間汚染に関する指標がないことが問題でした。本研究では空間の汚染状況を空間プロテオミクスという手法を用いて検証し、感染性空間汚染から秋田県民を守ることを目的としています。

感染性汚染環境から秋田県民を守るための基盤的研究



空間オミクス解析※による
微生物・生体情報の解析

空間オミクス解析

空間中に存在する生体関連分子全体を網羅的に研究する研究手法。ウイルス核酸、微生物や宿主に起因するタンパク質・代謝物などを検出する手法。

感染性汚染環境の定量化
感染症の流行状況把握と予測
感染症流行起点への対策

感染性汚染環境から県民を守る!!



病院



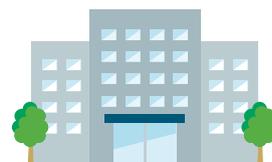
保育所



学校



老健・特養施設



会社

各施設で空間オミクスを実施

流行状況により空間からの微生物(インフルエンザ、COVID-19、ノロウイルス等)の検出を試みる
生体からの代謝物の測定により環境汚染の指標を作成

▶ 流行起点への積極的介入により秋田県におけるアウトブレイクを未然に防ぐ



総合診療医センター

急速な高齢化と医療偏在に対応するには、多くの疾患や生活上の課題を総合的に診療し、地域包括ケアで中心的な役割を担う総合診療医の養成が必要です。2021年度から厚労省の事業認定を受け、秋田大学附属病院に「総合診療医センター」が設置されています。

当センターの考える総合診療医は、これからの地域医療の問題を解決する医師です。よくある健康問題にしっかり対応しながら、予防医学や行政のサポートにも精通して各科専門医や他の職種と連携し、病気の治癒を意味するCure(キュア)ではなく、その人らしい生活を守るCare(ケア)を目指します。

総合的に患者さんを診るマインドを持つことは全ての医師に必要なことです。活動は多岐にわたっています。例えば、研修医や専門医の定期的なカンファレンスやセミナーを開催して、スキルや考え方を一緒に学びます。行政とも協力して、秋田大学だけでなく東北医科薬科大学、自治医科大学、岩手医科大学の医学部学生に体験型の実習や講義を行い、学びのサポートをしています。他にも医療MaaSでの診療巡回のマネジメントにも関わっており、今後は医療MaaSを利用した人材育成を進めていく予定です。



また、地域医療のモデルとなる湖東分室を設置しており、地元朝市での健康相談、近隣集落での講演、医療計画策定への協力なども行っています。さらに男鹿市や仙北市と秋田大学が連携して、2022年度から「男鹿なまはげ地域医療・総合診療連携講座」、2024年度から「仙北ウェルビーイング地域医療・総合診療連携講座」を開設しました。各講座では共同研究や地域でのセミナー等を行う他、秋田大学から指導医を派遣し地域医療の課題解決に寄与できる人材育成に向けた取り組みを行っています。

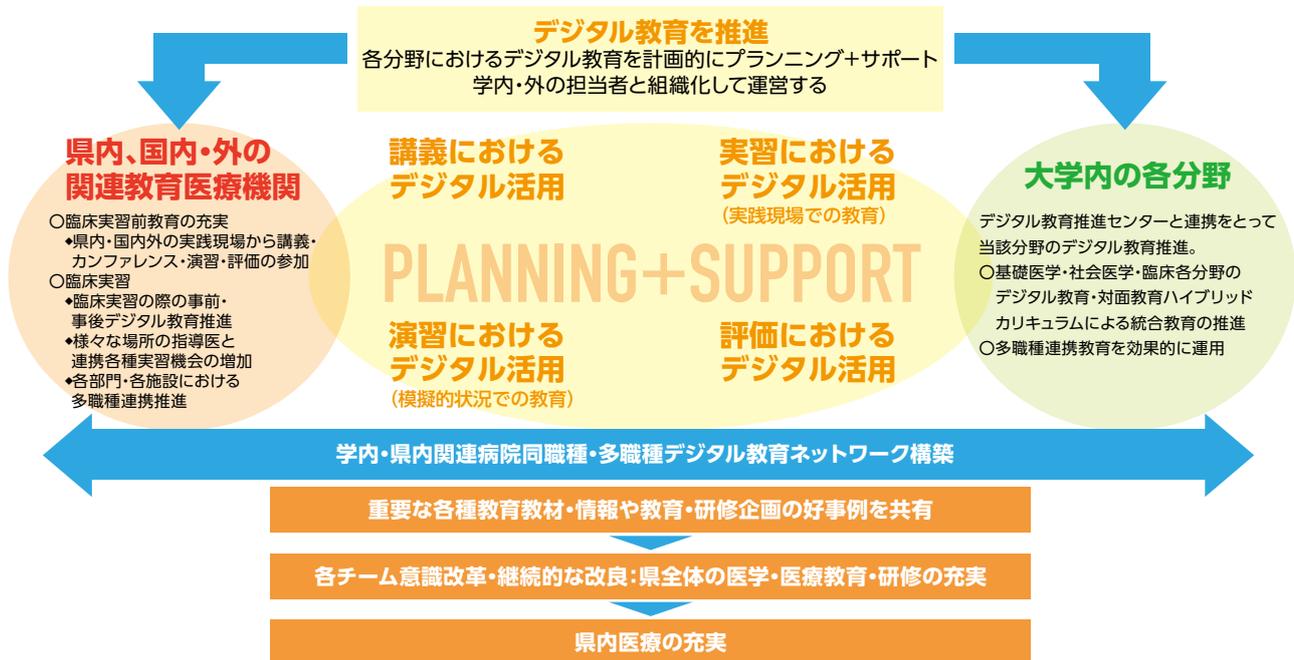
2023年度からは秋田県で総合診療専門医になるためのシステムも見直し、これまで県内に4つあった研修プログラムを一本化し、県全域の病院で質の高い研修が行えるような体制を整えました。さらに、東北日本海側の医師のネットワーク(GP NET)を整備して、人に寄り添い、地域に根を張る総合診療医の裾野を広げる活動を行っています。GP NETについてはホームページ(<https://akitagpnet.org>)などで随時紹介していますので是非ご覧ください。



先端医学教育の推進

次世代に向けて継続的に医療の質・チームの質を向上していくための 県内医療機関・同職種・多職種連携デジタル教育ネットワーク構築

先進デジタル医学・医療教育学講座のプロジェクト〈図1〉



医学教育のモデルコアカリキュラム(令和4年度版)では、各専門分野において患者さんを総合的に診るための診療能力とともに、理想的な同職種・多職種チームや組織を構築する能力の修得が重視されております。さらに卒業後も引き続き生涯にわたってその資質を向上することで、質の高い教育を提供する理想的な医療現場につなげることが理想とされており、本学ではこれを達成するために学内と県内関連病院すべての指導者による6年間一貫カリキュラムを構築してきました。初年次(図2)から卒業時目標を意識したこのカリキュラムで卒業したこの直近5年間(2020年～2024年)の卒業生の新卒者医師国家試験合格率平均は、国公立大学医学部の中で全国1位となることできております(https://www.med.akita-u.ac.jp/topics/fy2024/20240430_1.php)。

さらに、本学では次世代に向けて医学・医療教育の質を向上していくために、全国初のデジタル医学教育に特化した講座として『先進デジタル医学・医療教育学講座』を開設いたしました(令和4年12月)。この講座は、『①講義、演習、実習、評価におけるデジタル教育の推進』、『②バーチャルリアリティーや生成系AIをはじめとする最新のデジタル教材の開発・研究』とともに、『③各種診療やチームビルディング向上に関する講義・演習教材等の情報や図3のような同職種・多職種で行っている各種研修・シミュレーション教育企画などの学内・外の好事例(図3)を県内の医療機関の医師・医療者で共有する体制づくり』を進めております。これにより、卒前教育から生涯教育にわたり県内一体化したシームレスな医学・医療教育体制を充実していくとともに、次世代の医療の質・チームの質を確実に向上していくことを目指しております(図1)。



図2 1年生からのデジタル動画教材とシミュレーターを使った腹部エコー演習の様子
医学科1年生の10月、11月には、デジタル動画教材を使って効果的に学ぶ心エコー・腹部エコー・肺の聴診演習が行われます。2年次の解剖学実習の前に臨床における重要ポイントを学ぶことができます。



図3 集中治療室(ICU)における最新の多職種連携シミュレーション教育
心臓血管外科・救急科・麻酔科医師、診療看護師(NP)、ICU看護師、臨床工学技士の多職種チームにより、課題となる症例ベースでシミュレーショントレーニングを定期的に行い、継続的にチーム医療の質向上を目指しています。

研究力向上へ向けて

研究力向上へ向けた取り組み

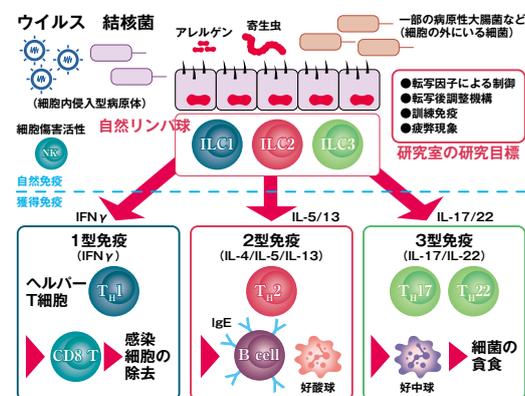
研究力向上へ向けた取り組みとして、医学部学生のうちからの研究マインドの醸成が重要と考えており、医学科3年生での研究配属には力を入れており、3か月間の研究配属での研究活動が終了後には全体での成果発表を3日間かけて行います。研究配属終了後も放課後や週末に研究室に出入りして研究を継続することを奨励しています。そのような試みによりここ数年は学部学生が筆頭著者で論文発表を行う例も増えてきました。若手教員向けには、年1回の研究科長あるいは病院長による研究費支援を行っています。学内公募により選ばれた教員は基礎研究あるいは臨床研究において1年間の研究費の支援を受け、1年後に学内で成果発表を行い、さらに論文成果発表につなげてもらう制度です。この支援により論文発表だけでなく科研費など公的研究費の採択率向上にもつながっています。また、研究推進には教員や大学院生の研究に関する情報の共有が大事です。そこで、今年度から学術研究委員会の主催で毎月1回の「研究プロモートセミナー」を開催しています。セミナーでは学内共有機器の紹介、AI関連の先進的研究内容の紹介、あるいは科研費獲得の成功体験などさまざまな研究活動に関する有益な情報を共有すると同時に研究へのモチベーションアップを図っています。また、学内のバイオサイエンス教育・研究サポートセンターの分子医学部門、動物実験部門から毎月の情報提供を行っています。研究費獲得においては、学内ピアレビュー制度を構築し、研究費の申請書類をブラッシュアップすることにより採択率向上を図っています。このような取り組みによりさらなる研究力の向上を期待しています。

自然リンパ球を介した免疫体質を解き明かす

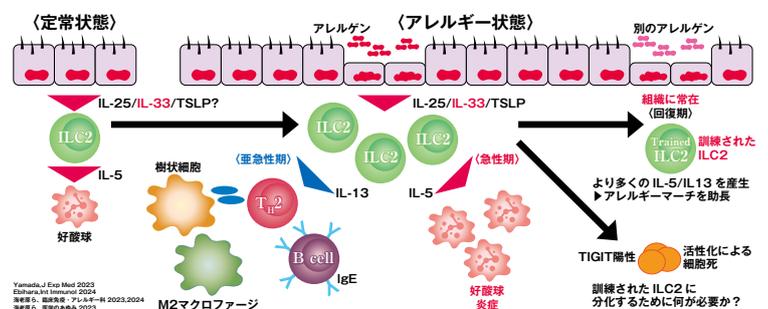
微生物学講座では、自然リンパ球の研究を通して、病気のなり易さ「免疫体質」の解明を目指しています。自然リンパ球は、色んな組織に常在する免疫細胞で、組織炎症に応答して免疫の方向性を決定づけます。大きく三つのサブセットに分類され、1型自然リンパ球(NK細胞、ILC1)は抗ウイルス免疫・抗腫瘍免疫を、2型自然リンパ球(ILC2)は抗アレルギー炎症・抗寄生虫炎症を、3型自然リンパ球(ILC3)は抗細菌・真菌免疫を誘導します。これらILCサブセットの組織での分布は非常に多彩であり、例えば、皮膚や肺にはILC2が非常に多く存在するために喘息やアトピー性皮膚炎を起こしやすい組織であると、言われています。したがって、自然リンパ球サブセットのバランス維持機構を理解することにより、病気のなり易さ「体質」をコントロールすることが私達の目標です。

また、自然リンパ球は一度活性化した後、一部が長期生存し訓練免疫の一翼を担います。訓練免疫とは、炎症を経験した免疫細胞が長期間生存し、同じタイプの免疫応答を抗原非特異的に増強する現象です。例えば、COVID-19流行時には、BCG接種者がウイルス感染症にかかりにくくなることが報告されました。このような異種の病原体に対する長期にわたる免疫応答の増強現象を訓練免疫と言います。この現象は、アレルギー炎症に当てはまることも出来ます。アレルギー炎症時に、ILC2は増殖して、アレルギー炎症を誘導するIL-5やIL-13というサイトカインを産生します。回復期には元の数に戻りますが、次にアレルギー炎症が起きた際により多くのIL-5やIL-13を産生するようになります。よって、ILC2による訓練免疫は、アレルギーマーチの原因になりえます。私達は、ILC2の訓練免疫現象を研究することにより、アレルギーの進展を止める手法の開発を目指しています。

自然リンパ球のバランスが免疫の方向性を決める



2型自然リンパ球(ILC2)による訓練免疫とアレルギーマーチ

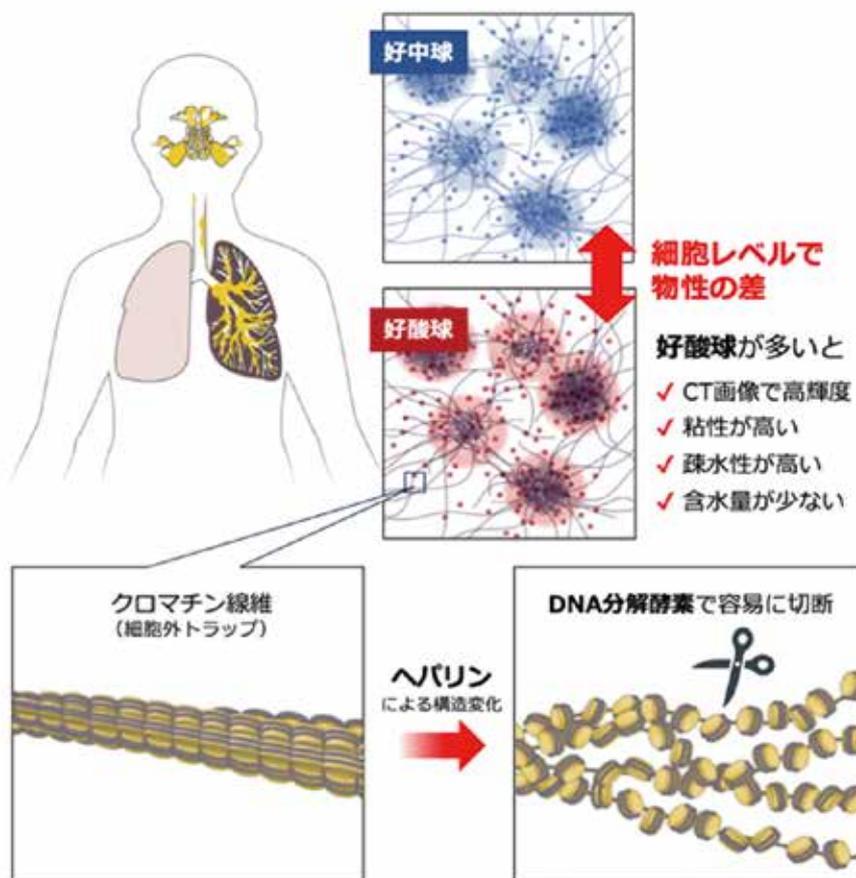


難治性アレルギーで「固い粘液」が作られるメカニズムと新しい治療法の開発

総合診療・検査診断学講座ではアレルギーのメカニズムについて研究を行っています。一部の難治性疾患(好酸球性副鼻腔炎、アレルギー性副鼻腔真菌症、一部の致死的な喘息や鑄型気管支炎、アレルギー性気管支肺真菌症など)では、ほかの多くの疾患と異なり、固く高い粘性を持つ粘液が副鼻腔や気管支を閉塞させてしまうことが知られています。このような粘液を除去するには、しばしば手術や内視鏡による粘液の除去が必要になり、患者さんの身体への負担も大きいことから、世界的にも原因の解明と新しい治療法の開発が期待されていました。当講座を中心とした研究チームは、この特徴的な粘液の物理学的性状(物性)や成分を詳しく検討しています。この結果、粘液に多く含まれている白血球(好酸球と好中球)が、活性化して死んだ時に細胞外トラップと呼ばれる線維構造を放出することが原因であることが明らかになりました。さらに粘液を溶解させる方策として、細胞外トラップの構造を緩くするヘパリンと、DNA分解酵素を併用することが効果的であることを示しています(図参照)。本研究の結果は米国の科学誌に報告されるとともにプレスリリースが行われ、新規治療の可能性として注目されています(写真参照)。



難治疾患の粘液では、活性化して死んだ白血球が集塊を形成する



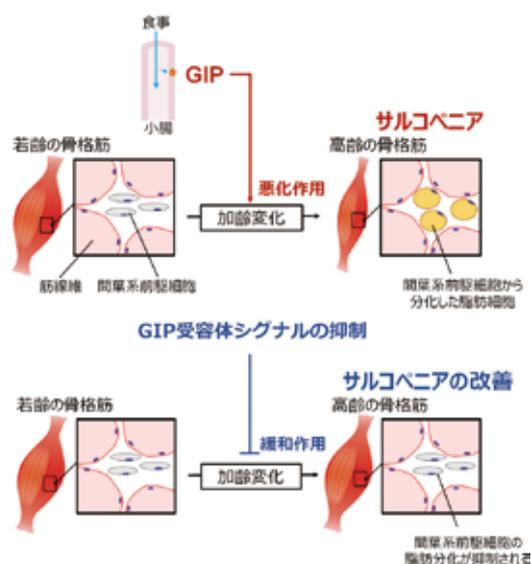
安定な繊維構造によって形成される粘性を解除



筋肉の老化に関わる骨格筋内脂肪形成メカニズムとGIPとの関連

代謝・内分泌内科学講座では、脂肪細胞や消化管ホルモンからのアプローチにより、肥満症や糖尿病の合併症・併存症の克服に向けた研究を行っています。老化に伴う筋肉量減少のために、筋力および身体機能の低下が生じている状態をサルコペニアといいます。糖尿病のある人はそうでない人と比較して、サルコペニアになりやすいとされています。このサルコペニアの原因のひとつに骨格筋内脂肪(Intramuscular adipose tissue, IMAT)があります。IMATは筋線維と筋線維の間質に存在する脂肪で、牛肉でいうと“霜降り肉のサシ”に相当する部分です。これがヒトにおいてもみられ、特に肥満の高齢者においてIMATが増加していると報告されています。骨格筋内の間葉系前駆細胞が脂肪細胞に分化することでIMATを構成しますが、この分化調節メカニズムについては十分明らかになっていません。

Gastric inhibitory polypeptide(GIP)は食事に伴い小腸から分泌される消化管ホルモンです。GIPは全身の脂肪の量を増やす作用があり、肥満の原因となります。私たちは、GIPが間葉系前駆細胞の脂肪分化促進因子であること、すなわちGIPがIMATの増加をきたし、サルコペニアに促進的に関与していることを明らかにしました。具体的には、筋肉から単離した間葉系前駆細胞にGIP受容体遺伝子の発現を認め、GIPの投与により間葉系前駆細胞の脂肪分化が促進されることを確認しました。また、高齢のGIP受容体欠損マウス(GIPの作用が遮断されているマウス)は高齢の野生型マウスと比較して、IMATは少なく、握力は強いというサルコペニアに抵抗性の特徴を示すことを認めました。さらに、GIP受容体拮抗薬を投与してGIPの作用をブロックすることで、IMATの形成が抑制されることを見出しました。これは、今後の創薬の可能性を示唆する結果と考えています。実際の臨床現場で役立つことを目指して、さらに研究を進めていきたいと考えています。(参照: Y Takahashi, et al. J Cachexia Sarcopenia Muscle. 2023. DOI: 10.1002/jcsm.13346)



クワセローム染色のIMAT領域(黄色)

スケールバー = 500 μm

IMAT領域 (%)

野生型 GIP受容体欠損 野生型+GIP受容体拮抗薬

$P < 0.001$

研究設備共同利用の促進

分子医学部門では、学内外の研究者に実験の場と共通実験機器の利用、受託分析サービスを提供しています。先進的分析機器として、生体中の微量な細胞群を分取できるセルソーター FACS Aria IIIとFACS Melody、最大20パラメーターを検出可能なセルアナライザー LSRFortessaX-20、超解像共焦点レーザー顕微鏡LSM980 with AiryScan2、プロテオーム解析やメタボローム解析に対応する質量分析システムZenoTOF7600、小型汎用次世代シーケンサー MiSeqとiSeq、シングルセル解析システムRhapsody、大量のシーケンズデータを解析するための解析ソフトCLC Genomics workbenchと高速PCシステム、全自動ELISA装置Ellaや全自動Western blot装置Jessなどを設置し、利用者の多様で先進的な研究を支援しています。

動物実験部門では、マウス個別換気システムにより、免疫不全マウスを安定的に飼育することが可能で、患者由来腫瘍細胞を移植したマウス(PDX, patient-derived xenograft)を用いて腫瘍細胞への薬剤効果などを確認する研究が進められています。解析装置として、IVIS-imaging system, Vevo imaging system, 3DマイクロX線CT装置などが設置されています。生殖工学では、ゲノム編集技術を用いてノックアウトマウスあるいはラットの作出が可能です。さらに、ES細胞を用いてキメラマウスを作製したのちに、それらの次世代である遺伝子組換えマウスを作出できるシステムを構築しています。また、実験動物技術者指導員である当センタースタッフが実験動物への処置を受託する動物実験サポート受託業務を開始していますので、ぜひご利用をお願いします。



シングルセル解析システムRhapsody: 生体試料中の個々の細胞へ識別バーコード配列を付加し、細胞ごとに次世代シーケンズ解析用ライブラリーを調製、個々の細胞の遺伝子発現解析を可能にする。



写真左 全自動ELISA装置Ella: 全自動で複数分析物を同時測定できる。90分以内に最大8項目を同時に分析し、データ取得まで行う。
写真右 全自動Western blot装置Jess: サンプル調製以外は全自動で電気泳動からシグナル検出まで行う。高感度で従来の1/5~1/10のサンプル量で分析ができる。

総合臨床教育研修センター あきた医師総合支援センター

本センターは医学部・附属病院各分野、県内医療機関、国内外の関連教育機関との密接な連携を推進し、これからの理想的な医師・医療者育成のニーズに対応した教育・研修を展開する目的で開設されました。附属病院の全診療科と看護部・薬剤部をはじめとする各部門及び医学科・保健学科から選出される委員で運営委員会が構成されており、卒前・卒後教育、卒後臨床研修・専門医研修、多職種連携教育、生涯教育、入学前教育、教育・研修のグローバル化、ライフワークバランス支援等を積極的に推進する役割を、秋田県の委託事業として設置されたあきた医師総合支援センターと連携しつつ担っています。

あきた医師総合支援センターでは、県、大学、県医師会、県内医療機関、各分野医療従事者の皆様、国内外の大学・医療機関との連携により、県内医師の研修体制の充実、各種専門研修プログラム、多職種連携教育の充実、男女共同参画・子育て中の女性医師・男性医師のサポート、各種研究会・シンポジウム推進活動など、本県の若手医師が安心してスキルアップを推進するための活動を行っています。近年では県内高等学校へ「Go!Go!Dr キャラバン」というイベント名で医師、看護師、診療看護師、臨床工学技士等による出前講義を実施し、医療従事者の仕事の魅力を伝える活動も開始しています。

特に、2つのセンターの活動の中心となる東日本最大規模の当院シミュレーション教育センターでは、ハワイ大学のシミュレーションセンターや国内外の機関と連携して教育・研修の充実を図っております。このシミュレーション教育センターの活用を中心に、最前線(地域包括ケア:医師・医療者として必須の総合的な診療能力習得)から最先端(各科高度専門医療)のあらゆる領域において、卒前教育から卒後研修・生涯教育にわたってシームレスに人間力・チーム力ある優れた医師・医療者を育成することにより教育を連鎖させ、将来に向かって教育・研修レベルの向上及び医療の充実を推進していきます。

卒前・卒後～多職種連携教育:総合臨床教育研修センターネットワーク

—大学(基礎・臨床)と各機関を統合して各科横断的な臨床教育実現へ—



●あきた医師総合支援センター HP <http://akitamd-support.com/>
●問い合わせ先 電話:018-884-6430 E-mail:info@akitamd-support.com



緊急処置ラボには次世代患者シミュレータSimMan 3G 及び SimBabyが配置され、急変患者対応など多様なシナリオトレーニングが可能である。



臨床専門技ラボには各科専門シミュレータが配置されている。



秋田大学医学部附属病院シミュレーション教育センター外観

●シミュレーション教育センター HP
<http://career.hos.akita-u.ac.jp/sim/>
●問い合わせ先 電話:018-884-6427
E-mail:career@hos.akita-u.ac.jp



①医学部学生定員及び現員 Undergraduate Student Enrollment

令和6年4月1日現在 As of April, 2024

医学科							
区分 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	5年 5th year	6年 6th year	合計 Total
定員 Enrollment	124 人	129 人 {5}	769 人 {25}				
現員 Present Number	127 (48)	136 (51) {5(3)}	126 (55) {5(2)}	136 (51) {5(2)}	121 (45) {5(1)}	132 (46) {5(3)}	778 (296) {25(11)}

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

{ }内は学士編入学生で内数を示す。Figures in curly brackets indicate the number who entered the program as students.

保健学科					
区分 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	合計 Total
定員 Enrollment	106 人	106 人	120 人 {14}	120 人 {14}	452 人 {28}
現員 Present Number	110 (82)	112 (92)	112 (92) {0(0)}	107 (87) {0(0)}	441 (353) {0(0)}

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

{ }内は3年次編入学生で内数を示す。Figures in curly brackets indicate the number who entered the program as 3rd year students

②医学部学生入学状況 Applicants and Entrants for the School of Medicine

医学科						
入学年度 Year of Enrollment	平成31年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024
定員 Freshman Enrollment Limit	129 人 {5}					
志願者数 Applicant	874 {115}	978 {138}	836 {126}	839 {111}	999 {127}	960 {108}
入学者数 Entrant	130(46) {5(3)}	129(51) {5(3)}	129(49) {5(1)}	129(55) {5(2)}	129(46) {5(2)}	129(51) {5(3)}

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

{ }内は学士編入学生で内数を示す。Figures in curly brackets indicate the number who entered the program as students.

保健学科						
入学年度 Year of Enrollment	平成31年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024
定員 Freshman Enrollment Limit	120 人 {14}					
志願者数 Applicant	474 {5}	433 {0}	260 {1}	310 {0}	325 {1}	668 {1}
入学者数 Entrant	111(91) {3(2)}	107(84) {0(0)}	107(89) {0(0)}	109(87) {0(0)}	108(89) {0(0)}	109(81) {0(0)}

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

{ }内は3年次編入学生で内数を示す。Figures in curly brackets indicate the number who entered the program as 3rd year students

③医学部年度別卒業生数

Number of Graduates from the School of Medicine

医学科						
卒業年度 Year of graduation	平成30年度 2018	平成31年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023
男 Male	70 人	67 人	73 人	72 人	79 人	79 人
女 Female	53	52	55	47	48	49
合計 Total	123	119	128	119	127	128

保健学科						
卒業年度 Year of graduation	平成30年度 2018	平成31年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023
男 Male	25 人	26 人	26 人	25 人	18 人	21 人
女 Female	83	85	100	83	87	79
合計 Total	108	111	126	108	105	100

④医学部地区別卒業生数

Regional Distribution of Graduates

医学科															
年度 Year	北海道 Hokkaido	秋田 Akita	青森 Aomori	岩手 Iwate	宮城 Miyagi	山形 Yamagata	福島 Fukushima	関東 Kanto	中部 Chubu	近畿 Kinki	中国 Chugoku	四国 Shikoku	九州・沖縄 Kyusyu/Okinawa	その他 Other	合計 Total
平成30年度 2018	1(0)	33(13)	3(1)	8(4)	3(0)	3(2)	1(0)	51(27)	16(5)	2(0)	0(0)	1(0)	1(1)	0(0)	123(53)
平成31年度 2019	2(0)	41(16)	1(1)	3(2)	3(1)	4(2)	3(3)	41(21)	16(5)	0(0)	2(0)	0(0)	3(1)	0(0)	119(52)
令和2年度 2020	1(1)	34(14)	3(0)	13(2)	7(2)	4(2)	0(0)	50(28)	11(6)	2(0)	1(0)	0(0)	2(0)	0(0)	128(55)
令和3年度 2021	1(1)	28(11)	1(1)	3(1)	3(2)	2(2)	1(1)	64(25)	10(0)	2(1)	1(0)	0(0)	2(1)	1(1)	119(47)
令和4年度 2022	5(2)	24(9)	2(1)	9(4)	5(2)	1(0)	2(0)	43(15)	21(8)	9(3)	3(1)	0(0)	3(3)	0(0)	127(48)
令和5年度 2023	1(1)	27(10)	1(0)	7(2)	6(1)	3(1)	1(1)	56(24)	18(6)	3(1)	3(1)	0(0)	2(1)	0(0)	128(49)

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

保健学科															
年度 Year	北海道 Hokkaido	秋田 Akita	青森 Aomori	岩手 Iwate	宮城 Miyagi	山形 Yamagata	福島 Fukushima	関東 Kanto	中部 Chubu	近畿 Kinki	中国 Chugoku	四国 Shikoku	九州・沖縄 Kyusyu/Okinawa	その他 Other	合計 Total
平成30年度 2018	2(1)	55(41)	3(3)	13(12)	3(3)	3(3)	2(2)	12(9)	11(8)	0(0)	1(1)	0(0)	1(0)	2(0)	108(83)
平成31年度 2019	7(4)	64(49)	5(4)	11(10)	4(3)	3(3)	0(0)	12(8)	3(3)	0(0)	0(0)	1(0)	1(1)	0(0)	111(85)
令和2年度 2020	5(3)	70(56)	2(2)	11(10)	6(5)	3(2)	1(1)	20(14)	6(5)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	0(0)	126(100)
令和3年度 2021	5(4)	53(41)	3(2)	8(8)	5(4)	7(6)	2(1)	10(7)	8(6)	2(1)	0(0)	0(0)	3(3)	2(0)	108(83)
令和4年度 2022	8(2)	54(10)	6(1)	7(0)	3(0)	7(0)	0(0)	10(2)	8(2)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	105(18)
令和5年度 2023	5(3)	50(41)	8(6)	9(8)	3(3)	4(4)	1(1)	6(3)	10(8)	3(2)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	100(79)

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

⑤大学院医学系研究科学生定員及び現員

Graduate Student Enrollment 令和6年4月1日現在 As of April, 2024

修士課程						
専攻課程 Course	定員 Enrollment		現員 Present Number			合計 Total
	入学定員 Freshman Enrollment Limit	収容定員 All Graduate Admission Limit	1年 1st year	2年 2nd year		
医科学 Medical Science	5人	10人	3(2)人	3(2)人		6(4)人

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

博士前期課程						
専攻課程 Course	定員 Enrollment		現員 Present Number			合計 Total
	入学定員 Freshman Enrollment Limit	収容定員 All Graduate Admission Limit	1年 1st year	2年 2nd year		
保健学 Health Science	12人	24人	14(4)人	15(9)人		29(13)人

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

博士後期課程						
専攻課程 Course	定員 Enrollment		現員 Present Number			合計 Total
	入学定員 Freshman Enrollment Limit	収容定員 All Graduate Admission Limit	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	
保健学 Health Science	3人	9人	3(1)人	4(2)人	7(4)人	14(7)人

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

博士課程							
専攻課程 Course	定員 Enrollment		現員 Present Number				合計 Total
	入学定員 Freshman Enrollment Limit	収容定員 All Graduate Admission Limit	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	
医学 Medical	30人	120人	30(14)人	30(13)人	32(12)人	94(33)人	186(72)人

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

⑥大学院医学系研究科修了者数 Number of Graduates from the Graduate School of Medicine

区 分 Classification	平成31年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023
修士課程(医科学専攻) A Master's Course of Medical Sciences	2 (2) 人	0 (0) 人	0 (0) 人	2 (0) 人	1 (1) 人
博士前期課程(保健学専攻) Master Course of Health Sciences	9 (6)	8 (2)	21 (15)	12 (3)	12 (2)
博士課程(医学研究科) A Doctoral Course for Medicine	—	—	—	—	—
博士課程(医学専攻) A Doctoral Course for Medicine	20 (3)	20 (6)	25 (11)	22 (8)	25 (4)
博士後期課程(保健学専攻) Doctor's Program in Health Sciences	4 (2)	2 (0)	4 (2)	3 (1)	2 (0)

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

医学研究科は医学系研究科へ改組前の課程で専攻名は省略。Figures in Parentheses indicate the number of female of students.

⑦学位授与者数 Doctorate Conferred

区 分 Classification	平成31年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	累 計 Total
博士(医学) the doctorate in Medical Science						
課程博士 Graduates from Graduate School	20 (3) 人	20 (6) 人	25 (11) 人	22 (8) 人	25 (4) 人	1,118 (224) 人
論文博士 Granted by Merit Thesis	3 (2)	5 (2)	2 (0)	0 (0)	4 (1)	621 (67)
合計 Total	23 (5)	25 (8)	27 (11)	22 (8)	29 (5)	1,739 (291)
博士(保健学) Doctor of Health Science	4 (2)	2 (0)	4 (2)	3 (1)	2 (0)	42 (20)
修士(医科学) Master of Medical Science	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (1)	32 (7)
修士(看護学) Master of Nursing	5 (4)	2 (2)	10 (8)	7 (3)	7 (2)	93 (79)
修士(リハビリテーション科学) Master of Rehabilitation Sciences	4 (2)	6 (0)	11 (7)	5 (0)	5 (0)	97 (33)

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

医学研究科は医学系研究科へ改組前の課程で専攻名は省略。Figures in Parentheses indicate the number of female of students.

①系統解剖 Systematical Anatomy

区 分 Classification	平成 30 年度 2018	平成 31 年度 2019	令和 2 年度 2020	令和 3 年度 2021	令和 4 年度 2022	令和 5 年度 2023
収集体数 No. of Cadavers Collected	30 体	30 体	26 体	31 体	29 体	22 体
返却数 No. of Cadavers Returned	0	0	0	0	0	0
収集計 Total No. of Cadavers Collected	30	30	26	31	29	22
実習体 No. of Cadavers Used	42	43	41	41	39	38
翌年度繰越 Carry-Over	112	119	86	76	64	44
遺体1体当たり学生数 No. of Students per Cadaver	4 人	4 人	4 人	4 人	4 人	4 人

①病理解剖 Autopsy

区 分 Classification	令和元年度 2019	令和 2 年度 2020	令和 3 年度 2021	令和 4 年度 2022	令和 5 年度 2023
病理解剖件数 No. of Autopsy	15 件	18 件	19 件	14 件	18 件

②病理検査件数 Number of Cases of Surgical Pathology

令和5年4月 April 2023	5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September	10月 October	11月 November	12月 December	令和6年1月 January 2024	2月 February	3月 March	計 Total
1,135 件	1,119 件	1,309 件	1,077 件	1,167 件	1,135 件	1,275 件	1,218 件	1,202 件	1,041 件	1,071 件	1,241 件	13,990 件



医学部霊堂
The Akita University School of Medicine Charnel House

①蔵書構成 Holdings

令和6年4月1日現在 As of April 1, 2024

区分 Classification		和書 Japanese	洋書 Foreign	合計 Total
図書 Books		56,594 冊	56,767 冊	113,361 冊
雑誌 Journals	種類数 Kinds of Journals	2,067 種	1,788 種	3,855 種
	年間受入種類数 Annual Accession	257 種	14 種	271 種
電子ジャーナル Online Journals		1,643 種	6,366 種	8,009 種

②入館者数 Number of Visitors

年度 Year	開館日数 Days Opened	入館者数 Number of Visitors	1日平均 Visitors / Day
平成30年度 2018	335	97,569	291.2
令和元年度 2019	339	80,171	236.5
令和2年度 2020	202	5,305	26.3
令和3年度 2021	244	9,633	39.5
令和4年度 2022	317	20,863	65.8
令和5年度 2023	334	30,940	92.6



グループ学習室 Group Study Room



コモンズ Commons



閲覧室 Reading Room



医学図書館 Medical Library



ブラウジングコーナー Browsing Corner



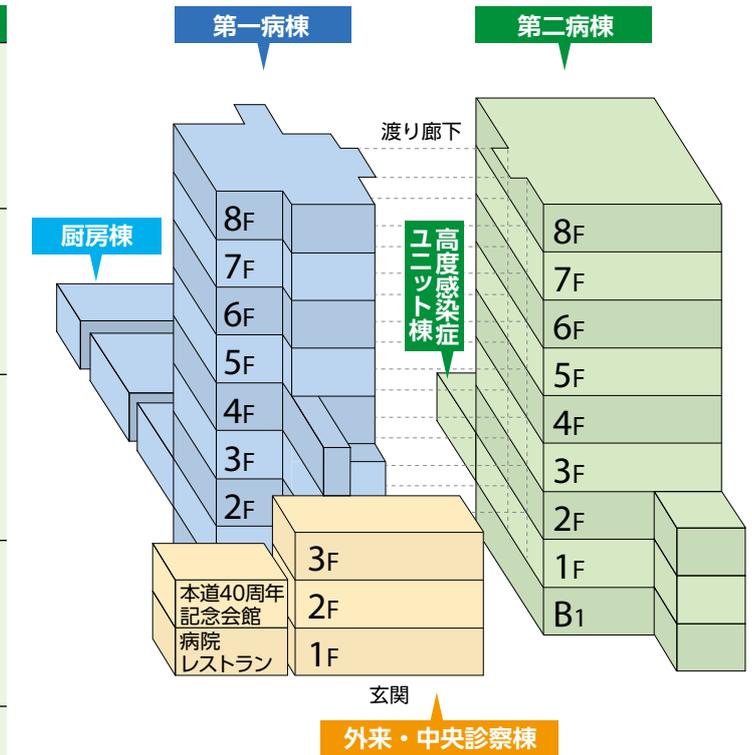
オープンスペース Open Space

① 病院案内図

Guide to Floors

令和6年4月1日現在 As of April 1, 2024

	第一病棟	第二病棟
8F	整形外科 脳神経内科	血液内科 腎臓内科 リウマチ科
7F	眼科 呼吸器外科 乳腺・内分泌外科 麻酔科・救急科	呼吸器内科 耳鼻咽喉科
6F	消化器外科 食道外科	消化器内科 腫瘍内科
5F	小児科 小児外科 新生児集中治療管理室 (NICU) 回復期治療室 (GCU) ひまわり学級 けやき学級	産科 婦人科 周産母子センター 糖尿病・内分泌内科 老年内科
4F	脳神経外科 皮膚科 形成外科 臨床研究支援センター	循環器内科 心臓血管外科
3F	集中治療部 (ICU) 中央手術部	精神科
2F	血液浄化療法部 感染制御部 輸血細胞治療・ 移植再生医療センター	泌尿器科 糖尿病・内分泌内科 老年内科
1F	放射線診断科 放射線治療科 歯科口腔外科 麻酔科 救急科 アイソトープ検査室 理容室 栄養管理部 厨房棟	高度救命救急センター 救急外来 内視鏡・超音波センター 心大血管リハビリテーション室 高度感染症 ユニット棟
B1	医療情報部 医療情報室 放射線治療センター 中央材料部 SPDセンター	臨床工学センター



外來・中央診察棟				
皮膚科 形成外科 精神科 病理診断科・病理部 医療安全管理部	看護部 緩和ケアセンター 総合診療部	総合診療医センター		
消化器外科 食道外科 消化器内科 血液内科 腎臓内科 リウマチ科 泌尿器科	耳鼻咽喉科 歯科口腔外科 腫瘍内科 外来化学療法室 脳神経外科 麻酔科 漢方外来 小児科	小児外科 中央検査部 薬剤部		
地域医療患者支援センター・ がん相談支援センター 緩和ケア外来 がん看護外来 循環器内科 呼吸器内科 心臓血管外科 呼吸器外科 乳腺・内分泌外科 産科 婦人科 眼科 入院セット受付窓口	整形外科 脳神経内科 高齢者臨床検査科 認知症医療センター 糖尿病・内分泌内科 老年内科 リハビリテーション科・部 放射線診断科 放射線治療科 中央放射線部 栄養相談室	総合案内 医事課 防災センター 病院レストラン ATM 外来受付・会計 医療サービス室 院内図書室 コーヒーショップ 入院案内 警備員室・売店 入院セット受付窓口		

②診療科別病床数

Number of Beds for Each Clinical Division

令和6年4月1日現在 As of April 1, 2024

区分 Classification	第一病棟 Wing No.1							第二病棟 Wing No.2							高度感染症 ユニット棟	合計 Total	
	1階 1st Fl	3階 3rd Fl	4階 4th Fl	5階 5th Fl	6階 6th Fl	7階 7th Fl	8階 8th Fl	2階 2nd Fl	3階 3rd Fl	4階 4th Fl	5階 5th Fl	6階 6th Fl	7階 7th Fl	8階 8th Fl	1階 1st Fl		
消化器内科 Gastroenterology	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	37床	37床
脳神経内科 Neurology							8										8
循環器内科 Cardiovascular Medicine										25							25
呼吸器内科 Respiratory Medicine													15				15
血液内科 Hematology																	42
腎臓内科 Nephrology																	
リウマチ科 Rheumatology																	
糖尿病・内分泌内科 Diabetes and Endocrinology								7			6						13
老年内科 Geriatric Medicine																	24
消化器外科 Gastroenterological Surgery					24												
呼吸器外科 Chest Surgery						12											12
食道外科 Esophageal Surgery					15												15
乳腺・内分泌外科 Breast and Endocrinologic Surgery						6											6
心臓血管外科 Cardiovascular Surgery										25							25
脳神経外科 Neurosurgery			28														28
小児外科 Pediatric Surgery				6													6
小児科 Pediatrics				19													19
産科 Obstetrics																	37
婦人科 Gynecology											37						
精神科 Psychiatry									36								36
整形外科 Orthopedic Surgery							38										38
皮膚科・形成外科 Dermatology, Plastic and Reconstructive Surgery			16														16
泌尿器科 Urology								36									36
眼科 Ophthalmology						25											25
耳鼻咽喉科 Otorhinolaryngology													34				34
放射線診断科 Diagnostic Radiology	10																10
放射線治療科 Radiation Oncology																	
麻酔科・救急科 Anesthesiology and Emergency Medicine	5					3											8
リハビリテーション科 Rehabilitation Medicine																	0
腫瘍内科 Clinical Oncology												10					10
歯科口腔外科 Dentistry and Oral Surgery	10																10
共通 Common Ward	2	0	5	5	9	9	3	4	0	2	3	5	2	4			53
ICU		16															16
NICU				6													6
GCU				3													3
															2		2
合計 Total	27	16	49	39	48	55	49	47	36	52	46	52	51	46	2		615

③診療科別入院及び外来患者数

Number of Inpatients and Outpatients at Each Clinical Division

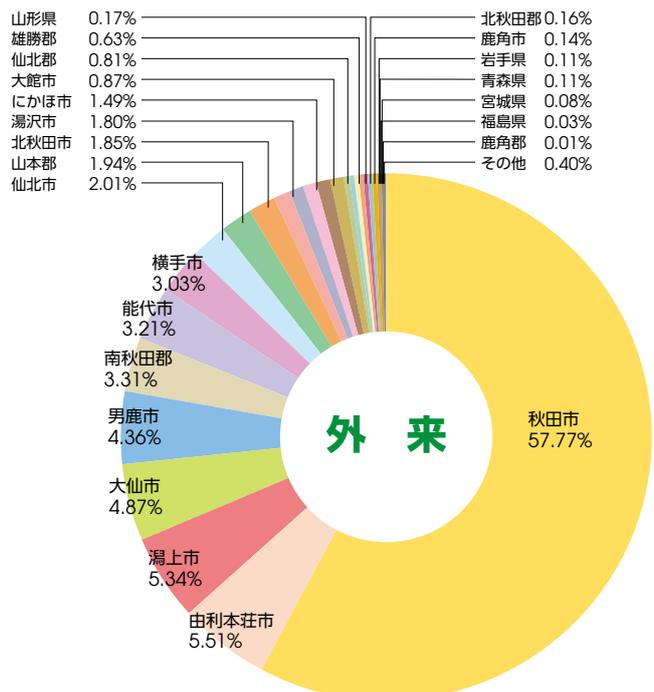
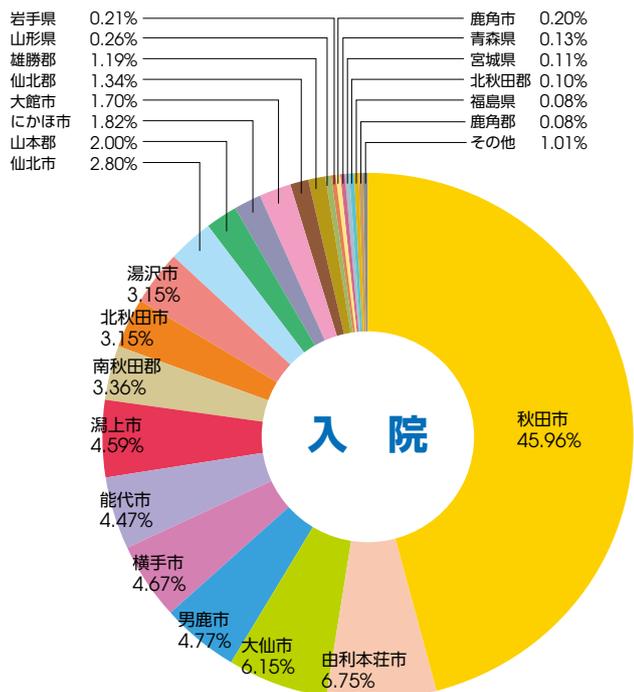
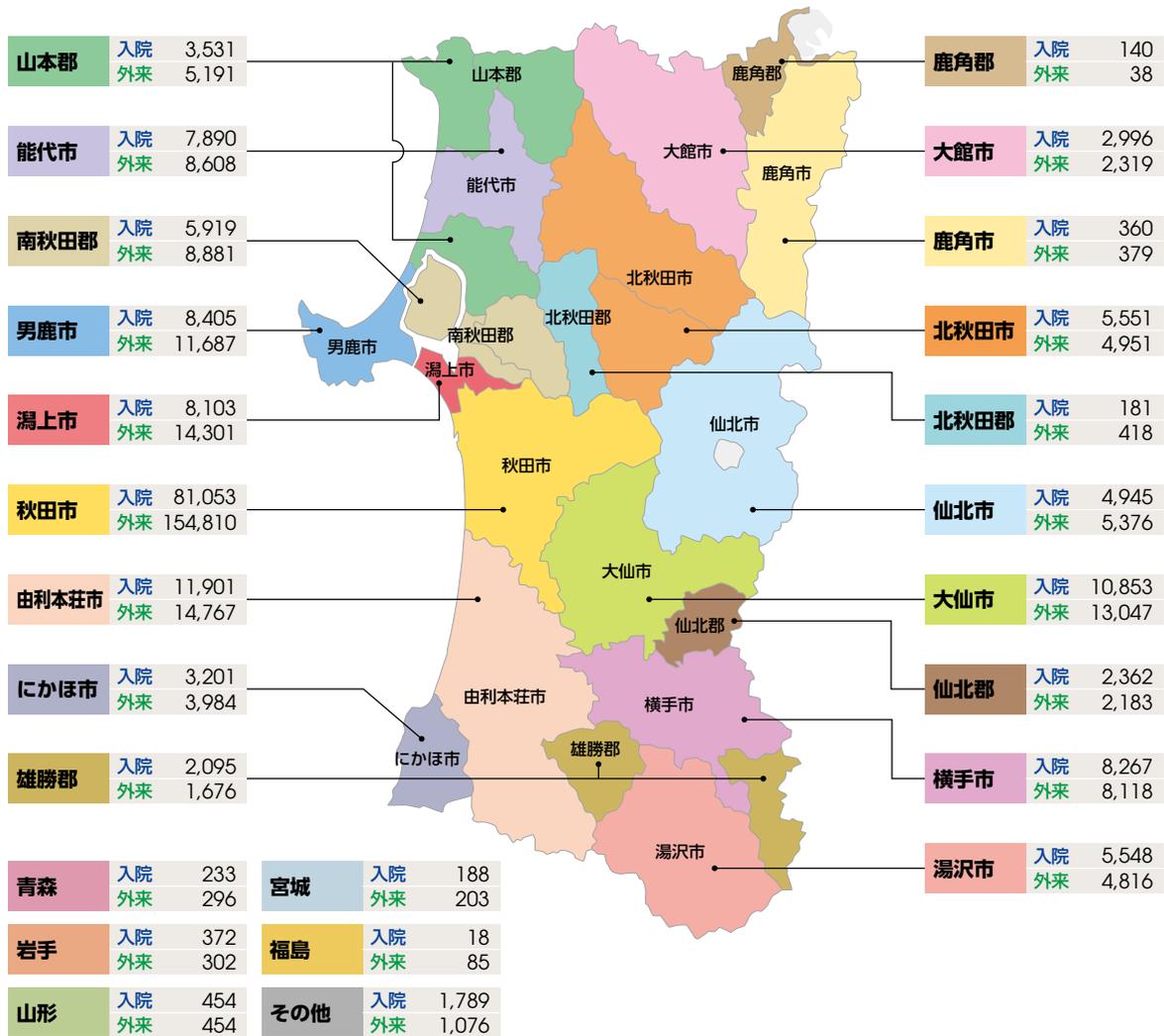
令和5年度 2023

区 分 Classification	入 院 Inpatients		外 来 Outpatients	
	延患者数 Total Number	一日当平均患者数 No.per day	延患者数 Total Number	一日当平均患者数 No.per day
消化器内科 Gastroenterology	11,538 人	32 人	16,180 人	67 人
脳神経内科 Neurology	2,532	7	4,732	19
循環器内科 Cardiovascular Medicine	9,688	26	8,243	34
呼吸器内科 Respiratory Medicine	4,120	11	4,637	19
血液内科 Hematology	9,845	27	6,169	25
腎臓内科 Nephrology	1,293	4	2,252	9
リウマチ科 Rheumatology	1,901	5	6,273	26
糖尿病・内分泌内科 Diabetes and Endocrinology	3,804	10	13,107	54
老年内科 Geriatric Medicine	0	0	0	0
消化器外科 Gastroenterological Surgery	6,863	19	3,573	15
呼吸器外科 Chest Surgery	4,760	13	2,826	12
食道外科 Esophageal Surgery	6,225	17	2,181	9
乳腺・内分泌外科 Breast and Endocrinologic Surgery	1,725	5	7,254	30
心臓血管外科 Cardiovascular Surgery	10,534	29	1,980	8
脳神経外科 Neurosurgery	10,637	29	5,181	21
小児外科 Pediatric Surgery	1,199	3	1,700	7
小児科 Pediatrics	7,186	20	7,963	33
産科 Obstetrics	4,643	13	3,663	15
婦人科 Gynecology	4,429	12	12,173	50
精神科 Psychiatry	9,291	25	14,312	59
整形外科 Orthopedic Surgery	13,627	37	16,120	66
皮膚科 Dermatology	4,385	12	18,135	75
形成外科 Plastic and Reconstructive Surgery	601	2	1,398	6
泌尿器科 Urology	12,879	35	15,260	63
眼科 Ophthalmology	8,511	23	15,376	63
耳鼻咽喉科 Otorhinolaryngology	9,994	27	13,170	54
放射線診断科 Diagnostic Radiology	141	0	901	4
放射線治療科 Radiation Oncology	1,975	5	5,383	22
麻酔科 Anesthesiology	0	0	1,253	5
リハビリテーション科 Rehabilitation Medicine	0	0	0	0
腫瘍内科 Clinical Oncology	4,580	13	3,522	14
救急科 Emergency Medicine	4,098	11	3,575	15
病理診断科 Clinical Pathology	0	0	0	0
歯科口腔外科 Dentistry and Oral Surgery	3,267	9	12,682	52
高齢者臨床検査科 Geriatric clinical-examination	0	0	385	2
総合診療部 General clinical Division	0	0	1,119	5
漢方外来 Kanpo Clinic	0	0	320	1
緩和ケア外来 Palliative Care Center	0	0	462	2
合計 Total	176,271	482 (481.6)	233,460	961

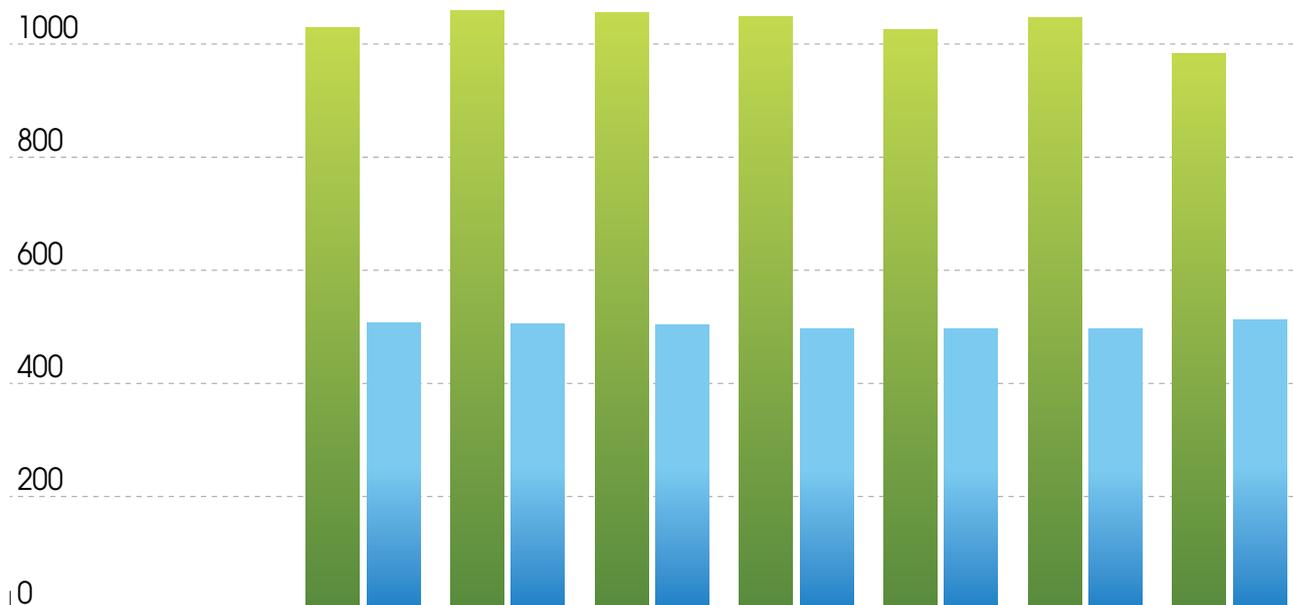
④ 地域別入院及び外来患者数

Distribution of Inpatients and Outpatients by Area

令和5年度 2023



⑤年度別1日平均患者数 Mean Number of Patients per day



区 分 Classification	平成28年度 2016	平成29年度 2017	平成30年度 2018	令和元年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023
外来患者数 Number of Outpatients	1,056 人	1,048 人	1,026 人	1,046 人	983 人	979 人	962 人	961 人
入院患者数 Number of Inpatients	503	497	497	497	512	510	447	482

⑥中央検査部臨床検査件数 Number of Cases of Central Laboratory

令和5年度 2023

	一 般 General Survey	血 液 Hematology	臨床化学・免疫 Clinical Chemistry	細 菌 Bacteriology	生 理 Physiological examination	合 計 Total
令和5年4月 April 2023	9,289 件	32,640 件	198,292 件	2,635 件	1,828 件	244,684 件
5月 May	9,067	34,013	204,290	2,534	1,861	251,765
6月 June	9,511	34,473	216,741	1,847	2,039	264,611
7月 July	8,897	32,669	195,886	1,618	1,820	240,890
8月 August	9,841	35,990	217,233	1,976	1,996	267,036
9月 September	8,917	33,476	200,068	1,738	1,795	245,994
10月 October	9,348	35,347	215,059	2,017	2,001	263,772
11月 November	9,458	34,735	210,371	1,884	1,942	258,390
12月 December	9,624	35,090	211,596	1,811	1,917	260,038
6年1月 January 2024	8,931	33,473	201,160	2,044	1,948	247,556
2月 February	8,857	33,082	198,657	1,835	1,847	244,278
3月 March	9,594	36,791	216,720	1,898	2,159	267,162
合 計 Total	111,334	411,779	2,486,073	23,837	23,153	3,056,176

⑦手術件数及び麻酔件数

Number of Surgery and Anesthetic Cases

令和5年度 2023

区分 Classification	手術件数 Surgery Cases								麻酔件数 Anesthetic Cases		
	0~ 999点	1000~ 2999点	3000~ 4999点	5000~ 9999点	10000~ 14999点	15000~ 19999点	20000点 以上	計 Total	0~ 999点	1000点 以上	計 Total
消化器内科 Gastroenterology	6	4	98	267	294	140	231	1,040	12	14	26
脳神経内科 Neurology	0	0	0	5	0	0	1	6	76	0	76
循環器内科 Cardiovascular Medicine	2	49	116	77	19	12	501	776	114	121	235
呼吸器内科 Respiratory Medicine	1	4	0	3	1	0	6	15	2	6	8
血液内科 Hematology	4	5	5	0	1	19	47	81	8	6	14
腎臓内科 Nephrology	0	0	3	0	4	0	0	7	9	0	9
リウマチ科 Rheumatology	0	1	1	2	2	0	0	6	3	0	3
糖尿病・内分泌内科 Diabetes and Endocrinology	2	2	0	0	1	4	0	9	2	0	2
老年内科 Geriatric Medicine	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器外科 Gastroenterological Surgery	6	16	5	24	53	27	274	405	463	401	864
呼吸器外科 Chest Surgery	1	2	8	8	4	11	193	227	435	569	1,004
食道外科 Esophageal Surgery	7	10	8	11	5	4	37	82	154	106	260
乳腺・内分泌外科 Breast and Endocrinologic Surgery	2	5	8	29	5	17	144	210	4	162	166
心臓血管外科 Cardiovascular Surgery	241	108	171	236	33	2	548	1,339	43	1,012	1,055
脳神経外科 Neurosurgery	10	18	26	0	8	13	248	323	67	270	337
小児外科 Pediatric Surgery	4	4	4	36	17	5	33	103	17	135	152
小児科 Pediatrics	0	10	5	5	4	6	8	38	292	38	330
産科 Obstetrics	5	140	9	19	0	0	102	275	309	87	396
婦人科 Gynecology	0	150	376	25	242	40	319	1,152	204	552	756
精神科 Psychiatry	0	1	1	2	1	1	1	7	3	3	6
整形外科 Orthopedic Surgery	65	50	81	85	130	181	808	1,400	914	793	1,707
皮膚科 Dermatology	43	164	82	18	352	3	32	694	247	70	317
形成外科 Plastic and Reconstructive Surgery	24	84	48	43	38	15	26	278	10	65	75
泌尿器科 Urology	7	29	86	14	185	8	238	567	399	567	966
眼科 Ophthalmology	7	60	25	69	1,331	196	911	2,599	1,621	24	1,645
耳鼻咽喉科 Otorhinolaryngology	43	113	115	65	36	20	298	690	43	335	378
放射線診断科 Radiation Oncology	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0
放射線治療科 Radiation Oncology	0	2	1	2	1	1	2	9	0	0	0
麻酔科 Anesthesiology	0	0	0	0	0	0	0	0	687	0	687
リハビリテーション科 Rehabilitation Medicine	0	0	0	0	0	0	0	0	839	0	839
腫瘍内科 Clinical Oncology	1	15	14	3	31	98	1	163	2	0	2
救急科 Emergency Medicine	225	64	66	10	23	18	58	464	11	99	110
歯科口腔外科 Dentistry and Oral Surgery	1,238	1,477	19	4	31	6	98	2,873	2,199	195	2,394
病理診断科 Clinical Pathology	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者臨床検査科 Geriatric clinical-examination	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 Total	1,944	2,587	1,381	1,062	2,852	847	5,172	15,845	8,502	5,630	14,132

※手術件数、麻酔件数は入院・外来の全算定件数を集計。

⑧処方枚数, 件数

Prescriptions and Related Data

令和5年度 2023

区分 Classification		枚数 Prescription	件数 Cases	品目数 Medicines	薬剤 Doses	院外処方枚数 Legal Prescription
調剤薬 Dispensed Drugs	入院 Inpatients	103,432 枚	229,398 件	242,320 件	1,371,645 件	— 枚
	外来 Outpatients	8,512	21,704	22,945	367,875	129,213
	合計 Total	111,944	251,102	265,265	1,739,520	—
注射薬 Injections	入院 Inpatients	159,969	556,076	805,612	1,893,371	—
	外来 Outpatients	22,471	31,662	37,245	43,822	—
	合計 Total	182,440	587,738	842,857	1,937,193	—

⑨分娩件数

Number of Delivery Cases

令和5年度 2023

区分 Classification	件数 Cases
経膣分娩 Normal Vaginal delivery	149 件
吸引/鉗子分娩 Vacuum extraction/Forceps delivery	63 件
予定帝王切開 Elective cesarean section	64 件
緊急帝王切開 Emergent cesarean section	38 件
その他(骨盤位など) others	4 件
合計 Total	318 件

(うち死産 3件)
Included stillbirth

⑩X線撮影, CT, MRI, 核医学検査及び放射線治療件数

Number of X-ray Photography, CT, MRI, Nuclear Medicine and Radiotherapy Cases

令和5年度 2023

区分 Classification	入院件数 Inpatients Cases	外来件数 Outpatients Cases	合計件数 Total
一般撮影(単純) X-ray Photography	32,249 件	32,979 件	65,228 件
一般撮影(透視) X-ray Fluoroscopy	1,760	847	2,607
血管造影検査 Angiography	419	0	419
心臓カテーテル検査 Cardiac Catheterization	815	0	815
X線CT検査 X-ray Computed Tomography	5,060	14,565	19,625
MRI検査 Magnetic Resonance Imaging	1,676	6,001	7,677
核医学検査(in-vivo) Nuclear Medicine (in-vivo)	405	828	1,233
PET-CT検査 Positron Emission Tomography	23	1,355	1,378
放射線治療 Radiotherapy	7,426	3,754	11,180
放射線治療計画 Radiotherapy Planing	620	220	840
合計件数 Total	50,453	60,549	111,002

⑪医療機関の承認・指定・届出等の状況

Legal Authorization of Medical Service

令和6年6月1日現在 As of June 1, 2024

病院開設承認等 Authorization of Medical Services		承認年月日
区分		
医療法による病院開設承認		昭和 51年 9月 1日
医療法による特定機能病院の名称の使用承認		平成 6年 1月 1日

法令による医療機関の指定等 Authorized Medical Functions		指定等年月日
区分		
健康保険法による特定承認保険医療機関		平成 5年 5月 1日
国民健康保険法による特定承認療養取扱機関		平成 5年 5月 1日
消防法による救急医療 (三次救急医療機関)		昭和 62年 1月 1日
生活保護法による医療機関		昭和 46年 4月 1日
障害者自立支援法による指定自立支援医療機関		平成 18年 4月 1日
感染症法による医療機関		昭和 46年 4月 1日
労働者災害補償保険法による医療機関		昭和 46年 4月 1日
原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律による医療機関 (一般医療・認定医療・健康診断)		昭和 46年 4月 1日
母子健康法 (妊娠乳児健康診断・養育医療)		昭和 46年 4月 1日
老人福祉法		昭和 47年 4月 1日
精神保健福祉法による医療機関		昭和 46年 4月 1日
戦傷病者特別援護法による医療機関		昭和 61年 10月 1日
臨床研修指定病院 (外国医師・外国歯科医師)		昭和 63年 3月 29日
災害拠点病院 (基幹災害医療センター)		平成 9年 1月 23日
都道府県がん診療連携拠点病院		平成 19年 1月 31日
都道府県肝疾患診療連携拠点病院		平成 20年 7月 31日
地域周産期母子医療センター		平成 26年 3月 24日
エイズ治療中核拠点病院		平成 27年 6月 1日
第一種感染症指定医療機関		平成 29年 4月 1日
がんゲノム医療連携病院		平成 30年 4月 1日
高度救命救急センター		令和 3年 4月 1日

健康保険法による各種基準の届出等 Authorization of medical standards in accordance with National Health Insurance			
A. 入院基本料			
区分			算定開始年月日
特定機能病院入院基本料	一般病棟 (対象: 11 病棟) (初回 対象: 13 病棟)	7:1 入院基本料	令和 24年 10月 1日 (初回平成20年6月1日)
	精神病棟	10:1 入院基本料	平成 28年 12月 1日 (初回平成22年4月1日)
B. 入院時食事療養の基準			
区分			算定開始年月日
入院時食事療養 (I)・入院時生活療養 (I)			平成 21年 10月 1日
食堂加算 (第一病棟 5 階、第二病棟 7 階を除く)			平成 21年 10月 1日
C. 厚生労働大臣の定める施設基準			
区分			算定開始年月日
地域歯科診療支援病院歯科初診料			平成 22年 4月 1日
医療DX推進体制整備加算			令和 6年 6月 1日
歯科外来診療医療安全対策加算 2			令和 6年 6月 1日
歯科外来診療感染対策加算 4			令和 6年 6月 1日
歯科外来診療環境体制加算 2			平成 20年 12月 1日
歯科診療特別対応連携加算			平成 22年 4月 1日
情報通信機器を用いた診療			令和 6年 2月 1日
特定機能病院入院基本料 一般 7:1			令和 3年 4月 1日
特定機能病院入院基本料 精神 10:1			令和 3年 4月 1日
入院栄養管理体制加算			令和 4年 6月 1日
救急医療管理加算			令和 2年 4月 1日
超急性期脳卒中加算			令和 29年 9月 1日
診療録管理体制加算 2			平成 6年 6月 1日
医師事務作業補助体制加算 1 20:1			令和 6年 5月 1日
急性期看護補助体制加算 25:1 (5 割以上)			令和 4年 1月 1日
急性期看護補助体制加算 夜間 100 対 1			令和 4年 4月 1日
急性期看護補助体制加算 夜間看護体制加算			令和 4年 4月 1日
急性期看護補助体制加算 看護補助体制充実加算			令和 5年 4月 1日
看護職員夜間配置加算 1 12:1 (イ)			平成 28年 11月 1日
療養環境加算			令和 3年 9月 1日
重症者等療養環境特別加算			令和 3年 9月 1日
無菌治療室管理加算 1			平成 24年 4月 1日
無菌治療室管理加算 2			平成 28年 10月 1日
放射線治療病室管理加算 (治療用放射性同位元素による治療の場合)			令和 5年 4月 1日
放射線治療病室管理加算 (密封小線源による場合)			令和 4年 4月 1日
緩和ケア診療加算			令和 4年 8月 1日
精神科入院時医学管理加算			平成 12年 6月 1日
精神科身体合併症管理加算			平成 21年 11月 1日
精神科リエゾンチーム加算			令和 2年 1月 1日
摂食障害入院医療管理加算			令和 6年 1月 1日
栄養サポートチーム加算			令和 5年 11月 1日
感染対策向上加算 1			令和 6年 6月 1日
感染対策向上加算 1 の注 5 に規定する抗菌薬適正使用体制加算			令和 6年 6月 1日

区 分	算定開始年月日
医療安全対策加算 1	平成 20年 4月 1日
感染防止対策加算 1 (感染防止対策地域連携加算算定有)	令和 4年 4月 1日
指導強化加算	令和 4年 4月 1日
患者サポート体制充実加算	平成 24年 4月 1日
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	平成 18年 4月 1日
ハイリスク妊娠管理加算	平成 20年 4月 1日
ハイリスク分娩管理加算	平成 22年 8月 1日
地域連携分娩管理加算	令和 4年 4月 1日
術後疼痛管理チーム加算	令和 4年 12月 1日
後発医薬品使用体制加算 2	令和 4年 4月 1日
データ提出加算 2 200床以上	平成 24年 10月 1日
入退院支援加算 1	令和 4年 6月 1日
入院時支援加算	令和 4年 6月 1日
精神科入退院支援加算	令和 6年 6月 1日
認知症ケア加算 1	平成 30年 10月 1日
せん妄ハイリスク患者ケア加算	令和 2年 4月 1日
精神疾患診療体制加算	平成 28年 4月 1日
精神科急性期医師配置加算 2 のイ	令和 2年 3月 1日
地域医療体制確保加算	令和 4年 5月 1日
特定集中治療室管理料 2	平成 30年 8月 1日
小児加算	平成 30年 8月 1日
早期離床・リハビリテーション加算 (* ICU)	平成 30年 8月 1日
早期栄養介入管理加算	令和 4年 6月 1日
新生児特定集中治療室管理料 1	平成 26年 4月 1日
新生児治療回復室入院医療管理料	平成 24年 10月 1日
小児入院医療管理料 2	令和 3年 4月 1日
小児入院医療管理料 2 の注 2 に規定する加算 (保育士 2 名以上の場合)	令和 6年 6月 1日
無菌治療管理加算 1	令和 4年 4月 1日
養育支援体制加算	令和 4年 4月 1日
看護職員処遇改善評価料 67	令和 4年 4月 1日
外来栄養食事指導料 注 3 に規定する基準	令和 4年 4月 1日
心臓ペースメーカー指導管理料の柱 5 に規定する遠隔モニタリング加算	令和 2年 4月 1日
重度喘息患者治療管理加算	令和 2年 1月 1日
糖尿病合併症管理料	平成 26年 9月 1日
がん疼痛緩和指導管理料	平成 22年 4月 1日
がん患者指導管理料イ	平成 26年 4月 1日
がん患者指導管理料ロ	平成 26年 4月 1日
がん患者指導管理料ハ	令和 6年 5月 1日
がん患者指導管理料ニ	令和 2年 4月 1日
移植後患者指導管理料 (臓器移植後)	平成 26年 10月 1日
移植後患者指導管理料 (造血幹細胞移植後)	平成 28年 5月 1日
糖尿病透析予防指導管理料	平成 24年 6月 1日
小児運動器疾患指導管理料	令和 4年 3月 1日
婦人科特定疾患治療管理料	令和 2年 4月 1日
腎代替療法指導管理料	令和 2年 4月 1日
一般不妊治療管理料	令和 4年 4月 1日
生殖補助医療管理料 1	令和 4年 4月 1日
二次性骨折予防継続管理料 1	令和 4年 4月 1日
院内トリアージ実施料	平成 28年 4月 1日
外来放射線照射診療料	平成 25年 4月 1日
がん薬物療法体制充実加算	令和 6年 6月 1日
外来腫瘍化学療法診療料 1	令和 4年 4月 1日
連携充実加算	令和 4年 9月 1日
ニコチン依存症管理料	平成 18年 6月 1日
療養・就労両立支援指導料の注 3 に掲げる相談支援加算	令和 4年 3月 1日
がん治療連携計画策定料	平成 23年 3月 1日
肝炎インターフェロン治療計画料	平成 22年 4月 1日
こころの連携指導料 (II)	令和 6年 1月 1日
薬剤管理指導料	平成 12年 4月 1日
医療機器安全管理料 1	平成 20年 4月 1日
医療機器安全管理料 2	平成 22年 4月 1日
精神科退院時共同指導料 1	令和 2年 6月 1日
精神科退院時共同指導料 2	令和 2年 6月 1日
救急搬送診療料 重症者搬送加算	令和 4年 4月 1日
在宅植込型補助人工心臓 (非拍動流型) 指導管理料	平成 28年 4月 1日
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	令和 元年 7月 1日
持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)	平成 26年 3月 31日
持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	令和 26年 4月 1日
遺伝学的検査	平成 28年 4月 1日
染色体検査の注 2 に規定する基準 絨毛染色体検査	令和 4年 4月 1日
骨髓微小残存病変測定	令和 4年 7月 1日
BRCA1/2 遺伝子検査	令和 4年 4月 1日
がんゲノムプロファイリング検査	令和 4年 4月 1日
先天性代謝異常症検査	令和 2年 9月 1日
抗アデノ随伴ウイルス 9 型 (AAV9) 抗体	令和 4年 4月 1日
抗 HLA 抗体 (スクリーニング検査) 及び抗 HLA 抗体 (抗体特異性同定検査)	平成 30年 4月 1日
HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)	平成 26年 4月 1日
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出 (髄液)	令和 6年 6月 1日
検体検査管理加算 (IV)	平成 22年 4月 1日
国際標準検査管理加算	令和 5年 11月 1日
遺伝カウンセリング加算	平成 20年 6月 1日
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	令和 2年 4月 1日
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	平成 30年 11月 1日
時間内歩行試験	平成 24年 4月 1日
シャトルウォーキングテスト	平成 24年 4月 1日
胎児心エコー法	平成 22年 4月 1日
ヘッドアップフィルト試験	平成 24年 4月 1日
人工臓器検査、人工臓器療法	令和 3年 1月 1日
皮下連続式グルコース測定	平成 26年 4月 1日
長期継続頭蓋内脳波検査	平成 12年 7月 1日
脳波検査判断料 1	令和 6年 5月 1日

区 分	算定開始年月日
神経学的検査	平成 20年 4月 1日
補聴器適合検査	平成 15年 8月 1日
コンタクトレンズ検査料 1	平成 20年 5月 1日
小児食物アレルギー負荷検査	平成 27年 2月 1日
内服・点滴誘発試験	平成 22年 4月 1日
CT 透視下気管支鏡検査加算	令和 2年 6月 1日
画像診断管理加算 1	令和 6年 5月 1日
ポジトロン断層撮影	平成 22年 4月 1日
ポジトロン断層撮影 (アミロイド PET イメージング剤を用いた場合に限る。)	令和 6年 6月 1日
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	平成 22年 4月 1日
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影 (アミロイド PET イメージング剤を用いた場合に限る。)	令和 6年 6月 1日
CT 撮影及び MRI 撮影	令和 6年 5月 1日
冠動脈 CT 撮影加算	令和 6年 6月 1日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成 22年 4月 1日
外来化学療法加算 1	平成 20年 4月 1日
無菌製剤処理料	平成 20年 4月 1日
心大血管疾患リハビリテーション料 (I)	平成 26年 4月 1日
脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)	令和 元年 5月 1日
運動器リハビリテーション料 (I)	平成 24年 4月 1日
呼吸器リハビリテーション料 (I)	平成 24年 4月 1日
がん患者リハビリテーション料	平成 26年 4月 1日
通院・在宅精神療法 早期診療体制充実加算	令和 6年 6月 1日
通院・在宅精神療法の注 12 に規定する情報通信機器を用いた精神療法の施設基準	令和 6年 6月 1日
精神科作業療法	令和 3年 2月 1日
抗精神病特定薬剤治療指導管理料 (治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	平成 24年 4月 1日
医療保護入院等診療料	平成 16年 4月 1日
人工腎臓 (慢性維持透析を行った場合 1、2)	平成 30年 4月 1日
ストーマ処置 ストーマ合併症加算	令和 6年 6月 1日
導入期加算 2 及び腎代替療法実績加算	令和 2年 11月 1日
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	平成 24年 12月 1日
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	平成 28年 4月 1日
磁気による膀胱等刺激法	平成 26年 4月 1日
センチネルリンパ節加算	平成 22年 4月 1日
皮膚移植術 (死体)	平成 30年 4月 1日
組織拡張器による再建手術 (乳房 (再建手術) の場合に限る。)	令和 3年 9月 1日
処理骨再建加算	令和 2年 4月 1日
骨移植術 (軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	平成 27年 4月 1日
椎間板内酵素注入療法	令和 2年 4月 1日
緊急穿頭血腫除去術	令和 6年 6月 1日
脳血栓回収療法連携加算	令和 6年 6月 1日
脳刺激装置植込術 (頭蓋内電極植込術を含む。) 及び脳刺激装置交換術	平成 12年 7月 1日
癒着性脊髄くも膜炎手術 (脊髄くも膜剥離検査を行うもの)	令和 4年 4月 1日
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	平成 12年 7月 1日
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術 (過活動膀胱)	平成 31年 3月 1日
羊膜移植術	平成 28年 2月 1日
緑内障手術 (流出路再建術 (眼内法) 及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	令和 4年 4月 1日
緑内障手術 (緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))	平成 26年 4月 1日
緑内障手術 (濾過胞再建術 (needle 法))	令和 4年 4月 1日
網膜再建術	平成 26年 4月 1日
植込型骨導補聴器 (直接振動型) 植込術	令和 4年 6月 1日
経外耳道の内視鏡下鼓室形成術	令和 4年 6月 1日
人工中耳植込術	平成 30年 4月 1日
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	平成 14年 1月 1日
内視鏡下鼻・副鼻腔手術 V 型 (拡大副鼻腔手術)	平成 26年 4月 1日
経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 (頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	令和 4年 4月 1日
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術	令和 2年 5月 1日
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	令和 2年 5月 1日
喉頭形成手術 (甲状軟骨固定器具を用いたもの)	平成 30年 9月 1日
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	令和 4年 4月 1日
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 (一連につき) (MRI によるもの)	平成 30年 4月 1日
乳房切除術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	令和 3年 5月 1日
乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用)	平成 22年 4月 1日
乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検 (単独)	平成 22年 4月 1日
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後)	令和 3年 9月 1日
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	令和 5年 9月 1日
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	令和 元年 11月 1日
気管支バルブ留置術	令和 6年 6月 1日
胸腔鏡下肺切除術 (区域切除及び肺葉切除又は 1 肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	令和 6年 6月 1日
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)	令和 6年 6月 1日
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又は 1 肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	令和 6年 6月 1日
肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	令和 6年 6月 1日
食道縫合術 (穿孔、損傷) (内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔縫合術、胃腸閉鎖術 (内視鏡によるもの)、小腸閉鎖術 (内視鏡によるもの)、結腸閉鎖術 (内視鏡によるもの)、腎 (腎盂) 腸閉鎖術 (内視鏡によるもの)、尿管腸閉鎖術 (内視鏡によるもの)、膀胱腸閉鎖術 (内視鏡によるもの)、腔腸閉鎖術 (内視鏡によるもの)	平成 30年 4月 1日
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	平成 30年 4月 1日
縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	令和 2年 4月 1日
経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)	平成 27年 9月 1日
胸腔鏡下弁形成術	令和 4年 1月 1日
経カテーテル大動脈弁置換術	令和 3年 12月 1日
胸腔鏡下弁置換術	令和 4年 1月 1日
経皮的僧帽弁クリップ術	令和 4年 6月 1日
経皮的中隔心筋焼灼術	令和 3年 6月 1日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成 12年 4月 1日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 (リードレスペースメーカー)	平成 30年 4月 1日
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術 (経静脈電極の場合)	平成 17年 4月 1日
植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	平成 12年 5月 1日
両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術 (経静脈電極の場合)	平成 21年 6月 1日
大動脈バルーンパンピング法 (IABP 法)	平成 12年 4月 1日
経皮的循環補助法 (ポンプカテーテルを用いたもの)	令和 4年 6月 1日
補助人工心臓	平成 12年 4月 1日
植込型補助人工心臓 (非拍動型)	平成 24年 4月 1日
経皮的下肢動脈形成術	令和 2年 4月 1日

区 分	算定開始年月日
腹腔鏡下リンパ節群郭清術（後腹膜）	令和 2年 4月 1日
腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）	令和 6年 3月 1日
内視鏡的逆流防止粘膜切除術	令和 4年 4月 1日
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	令和 2年 12月 1日
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）	令和 4年 4月 1日
胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）	平成 28年 4月 1日
腹腔鏡下肝切除術	平成 24年 7月 1日
腹腔鏡下脾腫瘍摘出術	平成 30年 4月 1日
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	平成 24年 4月 1日
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成 24年 4月 1日
内視鏡的小腸ポリープ切除術	令和 4年 4月 1日
腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）	平成 24年 4月 1日
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	平成 28年 4月 1日
腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	令和 4年 6月 1日
腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	令和 6年 6月 1日
腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和 2年 4月 1日
同種死体腎移植術	平成 20年 4月 1日
生体腎移植術	平成 20年 4月 1日
膀胱水圧拡張術	平成 22年 4月 1日
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	平成 30年 6月 1日
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	平成 24年 4月 1日
尿道狭窄グラフト再建術	令和 6年 6月 1日
人工尿道括約筋植込・置換術	平成 24年 4月 1日
膀胱頸部形成術（膀胱頸部吊上術以外）	令和 5年 5月 1日
埋没陰茎手術	令和 5年 5月 1日
精巣温存手術	令和 6年 6月 1日
陰嚢水腫手術	令和 5年 5月 1日
精巣内精子採取術	令和 4年 6月 1日
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	平成 26年 4月 1日
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	平成 24年 12月 1日
腹腔鏡下仙骨固定術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和 3年 5月 1日
腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和 元年 6月 1日
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援器具を用いる場合）	令和 4年 10月 1日
腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	令和 4年 4月 1日
胎児胸腔・羊水腔シャント術	平成 26年 4月 1日
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）	令和 4年 4月 1日
体外式膜型人工肺管理料	令和 4年 4月 1日
輸血管理料Ⅰ	平成 28年 3月 1日
貯血式自己血輸血管理体制加算	令和 4年 2月 1日
自己生体組織接着剤作成術	平成 24年 4月 1日
自己クリオプレシピナート作製術（用手法）	平成 30年 4月 1日
同種クリオプレシピナート作製術	令和 2年 4月 1日
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成 24年 4月 1日
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成 27年 3月 1日
コーディネート体制充実加算	令和 2年 6月 1日
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	平成 27年 3月 1日
麻酔管理料（Ⅰ）	令和 12年 4月 1日
麻酔管理料（Ⅱ）	平成 24年 8月 1日
放射線治療専任加算	平成 12年 4月 1日
外来放射線治療加算	平成 20年 4月 1日
高エネルギー放射線治療	平成 14年 4月 1日
1回線量増加加算	平成 30年 4月 1日
強度変調放射線治療（IMRT）	平成 27年 10月 1日
画像誘導放射線治療加算（IGRT）	平成 22年 4月 1日
体外照射呼吸性移動対策加算	平成 27年 6月 1日
定位放射線治療	平成 22年 4月 1日
定位放射線治療呼吸性移動対策加算	平成 26年 8月 1日
画像誘導密封小線源治療加算	平成 30年 9月 1日
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	平成 22年 4月 1日
デジタル病理画像による病理診断	平成 30年 4月 1日
病理診断管理加算2	平成 24年 4月 1日
外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）	令和 6年 6月 1日
歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）	令和 6年 6月 1日
入院ベースアップ評価料58	令和 6年 6月 1日
悪性腫瘍病理組織標本加算	平成 30年 4月 1日
歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	平成 25年 6月 1日
精密触覚機能検査	平成 30年 12月 1日
歯科口腔リハビリテーション料2	平成 26年 4月 1日
歯周組織再生誘導手術	平成 20年 4月 1日
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	平成 24年 4月 1日
クラウン・ブリッジ維持管理料	平成 8年 4月 1日
歯科技工加算1及び2	平成 22年 4月 1日
歯科技工士連携加算1	令和 6年 6月 1日
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法（歯科）	令和 6年 6月 1日

D. その他の届出

区 分	算定開始年月日	
酸素単価	令和 3年 4月 1日	
先進医療		
先進医療の名称	実施診療科	算定開始年月日
タイムラプス撮影法による受精卵・胚培養	産科婦人科	令和 5年 4月 24日

公費負担医療 Social Medical Care Services

- 小児慢性疾患医療費助成制度
- 先天性血液凝固因子障害治療研究事業
- 難病医療費助成制度

①敷地面積 Campus

秋田市本道一丁目1番1号 1-1-1, Hondo, Akita City	168,219㎡
---------------------------------------	----------

②建物面積 Buildings

医学系研究科・医学部 Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine				
	区 分 Classification	構 造 Construction	建面積 (㎡) Building Area	延面積 (㎡) Total Area
管理棟1	Administration Building	RC2	599	1,247
基礎医学研究棟	Research Building for Basic Medicine	RC5	1,324	6,544
臨床医学研究棟	Research Building for Clinical Medicine	RC2～5	2,201	11,294
保健学科棟	Building for Health Sciences	RC2～4	2,614	6,135
医学系研究棟	Medical Research Building	RC4	655	2,535
実習棟・講義棟	Laboratory and Lecture Theaters for Basic Medicine	RC2～3	1,438	4,220
福利厚生施設	Medical School Hall (Student Welfare Facilities)	RC2	712	1,360
体育館	Gymnasium	RC1,S1	1,079	1,079
医学図書館	Medical Library	RC2	742	1,717
環境安全センター	Environmental Research Center	RC2	331	495
課外活動施設	Extracurricular Recreation Facilities	S2	211	396
霊堂	Charnel House	RC1	31	31
その他	Others		1,417	1,542
バイオサイエンス教育・研究サポートセンター	Bioscience Education and Research Support Center	—	—	—
動物実験部門	Animal Research Laboratory	RC2～3	1,312	3,510
放射性同位元素部門	Radioisotope Research Laboratory	RC2	451	780
分子医学部門	Molecular Medicine Laboratory	RC4-1	538	3,069
本道40周年記念会館	Hondo 40th Anniversary Memorial Hall	S2	662	1,148
合 計	Total		16,317	47,102

※RC:コンクリート造, S:鉄骨造, SRC:鉄骨鉄筋コンクリート造



病児・病後児保育室 ことりのおへや
"Kotori - no - oheya" Special Child Care Room

附属病院 University Hospital

		区 分 Classification	構 造 Construction	建面積 (㎡) Building Area	延面積 (㎡) Total Area
本院 Hospital Building	第一病棟	Wing No.1	SRC8-1	11,576	40,999
	外来診療棟	Outpatient Clinics			
	中央検査部	Central Laboratory Division			
	中央手術部	Central Operating Division			
	集中治療部	Intensive Care Unit			
	中央材料部	Central Supplying Division			
	中央放射線部	Central Radiology Division			
	リハビリテーション部	Rehabilitation Division			
	血液浄化療法部	Division of Blood Purification			
	病理部	Division of Clinical Pathology			
	薬剤部	Department of Pharmacy			
	輸血部	Division of Blood Transfusion			
	看護部	Division of Nursing			
	事務部	Administration Office			
	高エネルギー棟	High-Energy Supply Center			
	MRI-CT棟	MRI-CT Facility			
	PET-CT棟	PET-CT Facility			
	厨房棟	Kitchen			
第二病棟 Wing No.2	病棟	Wards	SRC8-1	2,254	14,502
	高度救命救急センター	Advanced Emergency and Critical Care Center			
	内視鏡・超音波センター	Endoscopy and Ultrasonography Center			
	周産母子センター	Perinatal Medical Center			
	多用途型トリアージ施設				
	高度感染症ユニット棟	High Level Infectious Disease Unit	RC2-1	318	543
小 計	Subtotal			14,148	56,044
附属施設 Attached Facilities	シミュレーション教育センター	Medical Simulation Center	RC3	533	1,347
	管理棟2	Administration Building	S2	492	846
	エネルギーセンター	Power Supply Center	RC3,S1	1,348	1,681
	発電機室	Power Generator	RC1	273	282
	RI処理施設	RI Disposal Facility	RC1	197	241
	液酸タンク施設	Liquid Oxygen Tank	RC1	27	27
	看護師宿舎・本道寮	Nurse Dormitory・Residence Hall for Students	RC6	723	2,997
	ヘリポート・立体駐車場	Helipad / Parking Garage	S4	1,394	4,566
	立体駐車場	Parking Garage	S2	2,306	4,429
	塵芥収集施設	Waste Collecting Facility	S1	69	69
	職員厚生施設	Staff Welfare Facility	RC1,S1	338	334
	その他	Others		221	221
小 計	Subtotal			7,921	17,040
合 計	Total			22,069	73,084



JR秋田駅からのバス利用

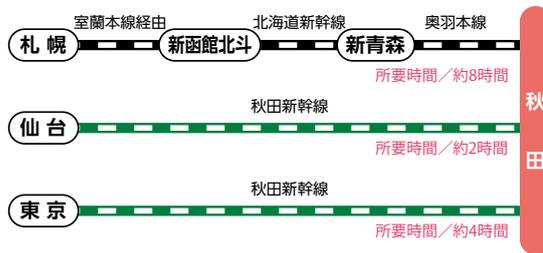
中央交通バス	東口	2番	西口	11番	12番
--------	----	----	----	-----	-----

※各線とも大学病院前下車 所要時間/約15分

名称 Name of Institution	所在地 Address	電話番号 Telephone
大学院医学系研究科・医学部 Graduate school of Medicine and Faculty of Medicine	〒010-8543 秋田市本道一丁目1番1号 1-1-1, Hondo, Akita City 010-8543	(018)-833-1166 (代)
医学図書館 Medical Library		(018)-884-6052
医学部附属病院 University Hospital	〒010-8543 秋田市広面字蓮沼44番2 44-2, Hiroomote, Aza, Hasunuma Akita City 010-8543	(018)-834-1111 (代)



鉄 道



高速バス



高速道路



航 空



秋田新幹線「こまち」
AKITA Shinkansen "Komachi"





1 基礎医学研究棟 Research Building for Basic Medicine	バイオサイエンス教育・研究サポートセンター Bioscience Education and Research Support Center	23 霊堂 Charnel House
2 基礎講義棟 Lecture Theaters for Basic Medicine	13 動物実験部門 Animal Research Laboratory	24 保育所 Day Care Center
3 学生実習棟 Building for Laboratory Work	14 放射性同位元素部門 Radioisotope Research Laboratory	25 特高受変電施設 High Voltage Transformer Facility
4 臨床医学研究棟 Research Building for Clinical Medicine	15 分子医学部門 Molecular Medicine Laboratory	26 看護師宿舎 Dormitory for Nurses
5 医学系研究棟 Medical Research Building	16 医学図書館 Medical Library	27 本道寮 Residence Hall for Students
6 保健学科棟 Building for Health Sciences	17 管理棟1 Administration Building	28 職員宿舎 Apartment Houses for Staff Members
7 附属病院外来棟 Outpatient Clinic	18 福利厚生施設 Medical School Hall (Student Welfare Facilities)	29 総合運動場 Athletic and Baseball Field
8 附属病院第一病棟 Wing No.1 of the University Hospital	19 体育館 Gymnasium	30 ヘリポート・立体駐車場 Helipad/Parking Garage
9 附属病院第二病棟 Wing No.2 of the University Hospital	20 エネルギーセンター Power Supply Center	31 立体駐車場 Parking Garage
10 シミュレーション教育センター Medical Simulation Center	21 発電機室 Power Generator	32 管理棟2 Administration Building
11 高度感染症ユニット棟 High Level Infectious Disease Unit	22 環境安全センター Environmental Research Center	33 バス停留所(大学病院前) Bus Stop
12 本道40周年記念会館 Hondo 40th Anniversary Memorial Hall		34 入構ゲート Entrance Gates



AKITA UNIVERSITYのAとUを外形^Aで表し、
MEDICINEのMを医学の象徴ギリシャ神話のアスクレピオスの杖に
聖なる蛇のからみつく姿に表現するとともに心臓を意味する。

This symbol represents Akita University by the frame, consisting of the letters A and U.
The School of Medicine is shown by 'M', the initial letter of 'medicine',
which symbolizes a heart as well as a sacred serpent curling around the stick of Asclepius,
the god of medicine in Greek mythology.



ISO9001:2015認証取得

認証範囲:医療サービス

本院では平成17年5月27日付で、品質管理の国際規格であるISO9001:2000(品質マネジメントシステム)の認証を取得し、平成30年5月30日付でISO9001:2015へのアップグレードを完了しております。

秋田大学 大学院医学系研究科・医学部 医学部附属病院 概要

AKITA UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE AND FACULTY OF
MEDICINE AKITA UNIVERSITY HOSPITAL
GUIDE FOR VISITORS

発行/令和6年

Published 2024

編集/秋田大学医学系研究科・医学部総務課

General Affairs Division,
Akita University Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine

秋田大学大学院医学系研究科・医学部ホームページ

Akita University Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine home page

<http://www.med.akita-u.ac.jp>

秋田大学医学部附属病院ホームページ

Akita University Hospital home page

<http://www.hos.akita-u.ac.jp>



秋 田 大 学

大学院医学系研究科・医学部
医学部附属病院

2024概要

令和6年度

Akita University
Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine
Akita University Hospital

GUIDE FOR VISITORS